

第七十四回帝國議會
衆議院

軍馬資源保護法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
軍馬資源保護法案(政府提出)
種馬統制法案(政府提出)
競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案
(政府提出)

會議

昭和十四年二月十五日(水曜日)午後一時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事佐藤謙之輔君 理事土田 莊助君

理事中野 寅吉君 理事大石 倫治君

森田重次郎君 服部 英明君

遠山 房吉君 坪山 德彌君

小笠原八十美君 池田七郎兵衛君

永田 良吉君 陣 軍吉君

山崎 常吉君

二月十四日競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍少將 中村 明人君

農林參與官 林 讓治君

農林省畜產局長 岸 良一君

馬政局長官 荷見 安君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍馬資源保護法案(政府提出)

種馬統制法案(政府提出)

競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)

○大石委員長代理 委員長ガ見エマセヌカラ、私ガ代ツテ暫ク委員長ノ席ヲ汚シマシテ開會スルコトニ致シマス

○櫻内國務大臣 只今本委員會ニ御付託ナリマシタ競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ニ付テ提案理由ヲ御説明致シマス、本法案ニ付キマシテハ本會議ノ際申上ゲマシタ通り支那事變ノ推移ニ對處シ、併セテ最近ニ於ケル競馬施行ノ實況ニ鑑ミマシテ、此ノ際競馬法ニ依ル政府納付金ニ關シ所要ノ改正ヲ加フルノ要アリト認メマシテ、右ニ關シ過般馬政調査會ニ對シテ諮問ヲ致シマシタ所、同調査會ニ於キマシテハ慎重審議ノ結果其ノ答申ヲ決議致サレタノデアリマス、即チ本法法律案ハ右ノ答申ニ基キ立案致シタモノデアリマシテ、最近ニ於ケル競馬施行ノ實況ニ鑑ミ競馬法ニ依ル政府納付金率ノ現行「百分ノ八以內」ヲ「百分ノ十一・五以內」ニ増加致スト共ニ政府納付金ト日本競馬會ノ賣得歩合金額トノ合計ハ、賣得金額ノ百分ノ十八ヲ限度トスルコトニ改メルノデアリマス

尙ホ敍上ノ改正ハ競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律トシテ制定致シ、支那事變終了後其ノ翌年十二月三十一日マデニ之ヲ廢止スルモノト致シタイト存ズル次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御可決アランコトヲ希望致シマス

○大石委員長代理 通告順ニ依ツテ質問ヲ御許シ致シマス——土田莊助君

○土田委員 現在ノ事變下竝ニ長期建設ノ事態ニ對處致シマシテ、政府ハ馬ニ關スル法案ヲ御提出ニナリマシタコトハ、洵ニ政府當局ノ御苦心又御努力ニ對シマシテ敬意ヲ表スル次第デアリマス、固ヨリ馬ハ國防上産業上重要ナル一ツノ資源デアリマス、又此ノ開發如何ハ産業上國防上ニ及ボス影響ガ非常ニ多イト思ハレマス、然ルニ只今提案サレタ法案ニ依リマスルト、國防上ニ於キマシテハ、相當威力ヲ發揮致スモノト考ヘル次第デアリマス、併シナガラ産業上ニ於

キマシテ此ノ事變下竝ニ長期建設ノ途上ニ於キマシテ産業上ニ對シテ政府ハ馬匹ノ威力ヲ更ニ一層強化スル要ハナキヤ否ヤ、先ヅ此ノ點ヲ承リタイ次第デアリマス、次ニハ種馬統制法案ニ依リマシテ馬ハ技術上ニ於キマシテ相當ナ進歩發達ヲ致シテ居ルコトヲ確信致スコトガ出來ルノデアリマスルガ、之ヲ畜產生産ノ經濟上カラ見タ際ニ於キマシテハ多少少コニ缺陷ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテ政府ハ將來如何ナル方途施設ヲ致サレルノデアリマスルカ、此ノ點ハ第二點トシテ承リタイ次第デアリマス、第三ハ前項二ツノ法案ガ提出サレタ結果ト致シマシテ當然畜產組合法ノ改正ヲサレナケレバナラスト思フノデアリマス、政府ハ果シテ現在缺陷ガアリマスル畜產組合法改正ノ意思アリヤ否ヤ、此ノ點ヲ承リタイノデアリマス、第四ニハ馬ノ年齡ニ關係致シマシテ其ノ能力ニ大ナル差等ガアルノデアリマス、此ノ差等アル所ノ軍馬候補馬ヲ如何ニ鍛鍊シ如何ニ訓練致シテ所期ノ目的ヲ達成スルカ、斯ウ云フコトヲ承リタイノデアリマス

仍テ先ヅ順序ト致シマシテ第一ノ國防産業ニ關係ノアリマスル馬匹ノ重要性ニ付テ當局ノ御意見ヲ承リタイ次第デアリマス、本邦ノ馬匹ハ大體其ノ生産、育成、繋留ハ民間ニ依存シテ居ル次第デアリマス、又反面ニ於キマシテハ民間ニ依存サレタ關係ト致シマシテ、是ガ本邦農業上又産業上交通運輸ノ上ニ大ナル民間ノ生産事業ニ貢獻致シテ居ルコトハ偉大デアルノデアリマス、然ルニ只今戰時下ニ於キマシテハ國防上馬匹ノ重要性ニ鑑ミマシテ資源法案ガ提案ニナツテ居リマシテ、私共ハ非常ニ喜ブ次第デアリマスルガ、現在日本ノ農家ハ戰時體制下ニ於キマシテ、農業上馬ヲ利用シ又馬ノ堆肥厩肥ヲ利用致シマシテ眞ニ生産擴充ノ途上ニアルノデアリマス、而モソレハ國策ト致シマシテ決定サレテ居ル問題デアリマス、其ノ上爲替管理ノ關係上燐酸又加里ハ外國ヨリ其ノ原料ヲ得ルニ至難ナ狀態ニアルノデアリマス、然ラバ日本内地ニ於キマシテ農業上窒素、燐酸、加里此ノ三要素ハ非常ニ重要ナ問題デアリマスルガ、遺憾ナガラ事變下ニ於キマシテハ此ノ燐酸加里ノ補給ノ途ハ現在ノ所ハナイノデアリマス、強ヒテ之ヲ求ムルト致シマスレバ、ドウシテモ馬ノ堆肥厩肥ニ俟ツヨリ外途ハナイノ

デアリマス、仍テ此ノ生産擴充又長期建設、斯ウ云フ問題カラ考ヘテ見マシタ時ニ於キマシテ、日滿支ハ一體不可分ナル所ノ均衡ノ取レタ所ノ政策ヲ實施致シマシテ眞ニ東亞ノ建設ニ向ハンケレバナラスト思フノデアリマス、内地ヲ閑却致シマシテ唯滿洲ヤ支那ノ發達ヲ期スルト云フコトハ、國策上私ハ當然爲スベカラザル問題ト思フノデアリマシテ、此ノ際非常ナ大キナ問題デアリマスケレドモ、肥料ノ自給性ヲ確保スル爲ニドウシテモ私共ハ一町歩一頭當ノ大動物ハ必要ト考ヘル次第デアリマス、斯ク致シマスレバ所謂窒素、燐酸、加里ニ於キマシテ日本内地ノ需要ハ更ニ缺陷ガ生ジナイコトヲ痛感致スノデアリマス、斯ウ云フ意味合カラ致シマシテ、眞ニ馬匹ハ産業上ノ重要ナル役割ヲ果シテ居ル、又果サセルト云フ意味ガアリマシタナラバ、其ノ間ニ於キマシテ政府ハドウ云フ政策ヲ樹立致スノデアルカ、先ヅ此ノ點ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

トガ、非常ニ利益デアルト云フコトモ御話ノ通りデアリマス
〔委員長著席、大石委員長代理退席〕
土田君ノ第一點ノ御尋ハ本案ニ依ツテ十分ニ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルト考ヘルカドウカ、更ニ擴大強化シタ所ノ計畫ヲ立テル必要ヲ認ムルカ認メナイカト、斯ウ云フ風ナ御意見ノヤウデアリマシタガ、政府ト致シマシテモ本案ヲ以テ決シテ満足致シテ居ルモノデアリマセス、又案ノ内容ニ付テ御覽下サイマシテモ、是ガ今日ノ國防計畫ノ上カラ言ツテモ亦農村ノ馬匹ヲ所要スル點カラ見マシテモ、決シテ満足スベキ計畫デハナイノデアリマス、唯財政計畫ト照シ合セマシテ、即チ已ムヲ得ザル限度ニ於テ此ノ擴充計畫ヲ立テテ譯デアリマシテ、將來若シ財政上許シマスナラバ更ニ本計畫ヲ擴張スルコトノ必要ノアルコトハ固ヨリデアリマス、第二點ノ畜産組合法ヲ改正シナケレバイカヌデハナイカ、之ニ對スル政府ノ所見如何ト云フ御話デアリマスガ、吾モ現在ノ畜産組合法ガ完全無缺ナモノトハ考ヘテ居リマセス、併シナラガ今日只今之ヲ改正スルト云フ風ナ成案ヲ持ツテ居リマセヌノミナラズ、此ノ問題ニ付キマシテ此ノ點ト此ノ點ヲ改正シヨウト云フ風ナ事

柄ニ付キマシテモ、マダ十分研究ガ積ンデ居ラナイノデアリマシテ、篤ト調査ヲ致サセマシテ現在ノ組合法ノ運用ニ依ツテ出來得ル限リ效果ヲ擧ゲタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス
第三ニ農村ノ肥料ノ問題ニ關聯シテノ御質疑デアリマシタガソレハ洵ニ御説ノ通りデアリマス、現在窒素、燐酸、加里就中燐酸、加里等ニ付キマシテハ海外ニ依存シナケレバナラスモノガアリマスノデ、ソレヲ補フ上ニ於テ馬ノ堆肥、厩肥等ニ俟ツト云フコトハ相當吾々モ期待致シテ居ルノデアリマシテ、此ノ點カラ申シマシテモ、何トカシテ此ノ計畫ヲ更ニ擴大致シタイト思ツテ居ルノデアリマスケレドモ、先刻申上ゲマシタ通り、財政上ノ關係カラ致シマシテ、此ノ程度ニ止メタ次第デアリマス
○土田委員 只今農林大臣ノ御話ヲ承リマシテ、私ハ大ナル満足ヲ致スモノデアリマス、併シ願クハ國防産業ハ或ル意味カラ見マスレバ、産業其ノモノガ廣義國防ヲ意味スルコトモアルノデアリマス、殊ニ馬ハ國防産業上ト云フコトガ古來カラ唱道サレマシテ、何時ノ場合ニ於キマシテモ並行シタ政策ヲ樹立致サレテ居ルノデアリマス、併シナガラ如何ニ政府ガ八面六臂ノ頭腦ガ

アリマシテモ非常ニ國務多端ノ場合デアリ
マスカラ、順ヲ逐ヒマシテ産業計畫ノ樹立
ヲ致サレト云フコトニ對シマシテハ滿腔
ノ敬意ヲ拂フ者デアリマス、仍テ私ハサウ
云フ意味合カラ致シマシテ、第一間ハ此ノ
程度ニ措キマシテ、第二ニ種馬統制法案ニ
關聯致シマシテ、畜産生産經濟上如何ナル
施設ヲ政府ハシナケレバナラヌカ、又政府
ハソレニ對シテドウ云フ御意嚮ヲ持ツテ居
ルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、
由來本邦ノ畜産上カラ見マシテ、技術ノ上
ニ又技術ノ上ニ於キマシテハ相當進歩發達
ハ之ヲ認メル次第デアリマスガ、其ノ經濟
上家畜ヲ飼育致シマシテ採算ガ取レルカ否
ヤト云フコトニ對シマシテハ、非常ニ御研
究ガ淺イヤウニ思ハレテ居ルノデアリマス、
仍テ私ハ技術ノ鍊磨ト相俟ツテ此ノ經濟上
採算ノ取レル畜産上ノ基礎ヲ政府ガ確立致
シマシテ、有畜農業ノ永遠ニ互ツテ何等ノ
微動ダモシナイ、日本ノ畜産行政ハ之ニ依
ツテ初メテ確立スルト云フ所ノ基礎計畫ガ
伴ハナケレバ、跛行的ノ政策ニ陥ル虞ガア
ルト思フノデアリマス、現ニ如何ナル技術
ガアリマシテモ其處ニ牧草並ニ飼料、サウ
云フ動物ニ變化サセベキ材料ガ無カツタ場
合ニ於キマシテハ、如何ナル畜産行政モ砂

上ノ樓閣ト同ジデアリマシテ、ソコニ畜産
ニ變化サセベキ所ノ資源ヲ與ヘズシテ畜産
行政ヲ云々スルト云フコトハ、民間當業者
ニ非常ナル損失ヲ及ボスモノト考ヘルノデ
アリマス、仍テ私ハ此ノ種馬統制法案ニ依
ツテ、成程要望サレル相當立派ナ種畜ノ生
産ガ可能デアルト思ヒマスルガ、其ノ立派
ナ天賦ノ資質ヲ完全ニ育成致スト云フ場合
ニ於キマシテハ、ソコニ相當ナル所ノ林野
ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、デ
昨日馬政局長官ノ御話モアリマシタガ、此
ノ牧野ノ問題ニ對シマシテハ、民間カラ要
望ガ少イ、要望ガ少イカラ、先ヅ現在ニ於
キマシテハ百三十八萬圓程度ノ助成金ヲ交
付致シマシテ、此ノ林野對策ヲ解決セント
致シテ居ル、斯ウ云フ御話デアツタノデア
リマス、併シナガラ考ヘテ見マスルト、ド
ウシテモ軍馬資源並ニ種馬ノ統制法案ノ上
カラ見マシテ、何處ノ町村ニハドレダケノ
馬匹ガ必要デアルカ、何處ノ聯合町村ノ區
域ニハドレダケノ馬匹ガ平素繫養サレテ居
ラヌケレバナラヌカ、又ドウ云フ地域ニハ
ドレダケノ生産ガ爲サレナケレバナラヌカ
ト云フコトニ於キマシテハ、當然政府ノ調
査ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、
サウ云フ理由カラ考ヘテ見マシタ時ニ、然

ラバ其ノ町村ニドレダケノ牧野ガ必要デア
ルカ、ドレダケノ飼料ノ栽培地ガ必要デア
ルカト云フコトハ自ラ明カナ次第デアリマス、
此ノ馬匹ノ繫留頭數、又生産頭數ニ比例致
シマシテ、ドウシテモ其處ニソレダケノ放
牧採草地ガナケレバナラヌト云フコトハ當
然デアルノデアリマス、併シナガラ現在マ
デソレヲ爲シ得ナカツタト云フコトハ、是
ハヤハリ畜産行政ガ餘リニ民間ノ要望ト相
離レタ結果デアツタカモ知レスノデアリマ
スガ、最早畜産ノ重要性ヲ益、痛感スル今
日ニ於キマシテハ、ドウシテモ之ヲ決行シ
ナケレバナラヌト思フノデアリマス、仍テ
私ノ意見ヲ多少茲ニ加ヘマシテ政府ノ所信
ヲ伺ヒタイト思フ次第デアリマス、ソレ
ハ昨年制定サレマシタ農地調整法ニ依リマ
スルト、未墾地ニ對シマシテハ其ノ委員會
ノ決定ニ依リマシテ土地ヲ收用スルコトガ
出來ル、收用シタ場合ニ於キマシテハ、當
然政府ハ經費ヲ融通致スト云フコトニ相成
ツテ居ルノデアリマス、又既墾地ニ對シマ
シテモ其處ノ讓渡ノ協議ヲ求メルコトガ出
來ル、斯ウ云フ法律ガ昨年議會ヲ通過致シマ
シテ現在制定サレテ居ルノデアリマス、此ノ農
地調整法ヲ利用致シマシテ、眞ニ其ノ町村ノ
必要ナル頭數ノ繫養、又生産ニ必要ナル所ノ

ソレニ比例シタル林野ト云フコトハ、其ノ町
村ノ經濟更生上重大ナル問題デアリマスカ
ラ、委員會ノ可決ヲ得マシテ、サウシテ
國ノ承認ヲ得マスレバ直チニ其ノ牧野ノ問
題ハ解決出來ル問題ト思フノデゴザイマス、
此ノ法律ノ威力ハ國有林ニ對シマシテモ土
地收用法ガ適用出來マス、公有林ニ對シテ
モ出來ルノデアリマス、又個人有ニハ勿論
デアリマス、斯ノ如キ威力ノアル法律ガア
リナガラ此ノ法律ヲ運用致サナイト致シマ
シタナラバ、悔ヲ將來ニ貽スコトガ相當ニ
大キイト思フノデアリマス、デ私ハ此ノ技
術ノ鍊磨ト相關聯致シマシテ、經濟上如何
ニ畜産ノ生産並ニ繫畜ヲ致サレルカト云フ
政府ノ所信ヲ承リタイ次第デアリマス
○櫻内國務大臣 馬政計畫ノ上ニ付キマシ
テ各府縣ニ一定ノ割當ヲ行ツテ、之ニ對ス
ル所ノ牧野ノ設置及ビ飼料ノ供給ノ途ヲ確
保スルコトガ一番必要デアルト思フガ、ソ
レニ對シテ政府ハ一定ノ方策ヲ立テテ居
ルカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアツタと思
ヒマス、勿論當局ニ於キマシテモ此ノ増產計
畫ヲ致シマスニ付キマシテハ、之ニ要スル
所ノ牧野並ニ之ニ對スル所ノ飼料等ニ付キ
マシテハ相當考慮ヲ拂ツテ立案ヲ致シテ居
ルノデアリマシテ、或ハ政府委員カラ答辯

ヲ申上ゲタカト思ヒマスケレドモ、牧野ノ整備ニ致シマシテモ、健力六十萬圓カノ費用ヲ出シテ整備ヲ致シ、採草地其ノ他ニ付キマシテモ相當ノ準備ヲ致スヤウニシテ居ルノデアリマス、併シ其ノ規模ガ極メテ不満足デアルト云フコトハ私共モ認メル譯デアリマシテ、之ニ付キマシテハ更ニ考慮ヲ致シタイト思ツテ居リマス、國有林野ヲ開放シテ牧野ニ致スト云フコトガ一番ヤリ易イ途デアリマスノデ、所謂山林經營上差支ナイ範圍ニ於テ之ヲ開放シテ牧野ニ使用スル途ヲ講ジタイト云フ見地カス、今取調ヲヤツテ居ルヤウナ譯デアリマス、幸ニ之ニ依ツテ相當ノ途ガ立チマスレバ洵ニ仕合せト思ツテ居リマスガ、更ニ農地調整法ヲ利用シテ民間ノ公有林並ニ民有地ヲモ徵發シテ之ニ使用シテハドウカト云フ御意見デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ馬ノ飼育上現在ノ計畫ニ於テ差支ガアルト云フコトニ相成リマスレバ、勢ヒ適當ナル方法ヲ講ジナケレバナリマセヌケレドモ、現在程度ノ擴張ト致シマシテハ只今考ヘテ居ル方途ニ依ツテ間ニ合フデハナカラウカ、唯飼料ガ相當値ガ上リハシナイカ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ深ク吾々モ調査研究致シテ居ルノデアリマシテ、出來ル限り飼料ヲ其ノ地

方ニ依ツテ供給シ得ルヤウニ、即チ粗飼料ノ方ニ於キマシテハ固ヨリノ話デアリマシマスガ、濃厚飼料ニ於テモ其ノ地方ニ於テ出來ル限り之ヲ供給スルヤウニ致シタイ、斯様な考ヲ以テ獎勵並ニ助成ヲ圖ツテ行キタイ、斯ウ云フ譯デ當局ニ於テ努メテ居ル譯デアリマスカラ左様御承知願ヒタイト思ヒマス

○土田委員 只今農林大臣ノ御話ヲ承リマシテ洵ニ私共意ヲ強く致ス次第デアリマシマスルガ、由來公有林野ニ於キマシテハ當初税金ノ關係上政府ノ國有林ニ編入サセマシテ、其ノ後ニ於キマシテヤハリ放牧、採草地ノ關係上下ウシテモソレダケノ林野ガナケレバナラスト云フノデ大藏省ニ願ヒマシテ、大藏省ノ雜種財産カラ町村並ニ聯合町村デ公有林野ヲ求メタ箇所ガ相當多イノデアリマス、然ルニ現在ニ於キマシテハ其ノ公有林野ハ大體植林ヲサレテ居ルノデアリマス、何故カト申シマスレバ町村ノ基本財産ヲ造成スルト云フ意味合カラ致シマシテ、何十年後ニハドレダケノソコニ町村ノ資産ガ出來ル、斯ウ云フ理由カラ盛ニ造林サレテ居ル現状デアリマス、併シナガラ造林モ固ヨリ結構デアリマシマスルガ、町村ノ基本財産ガ出來タガ爲ニ産業ノ第一線ニ立ツテ居リマ

スル農耕者ハ、何等其ノ恩惠ヲ蒙ルコトハナイノデアリマス、町村ノ多額ノ税金ヲ負擔スル人ハ基本財産ノ造成ニ依ツテ公益上ノ處分カラ相當ノ利得ガアリマシマスガ、眞ニ産業ノ第一線ニ立ツテ居ル所ノ農耕勞働者ハ、此ノ基本財産ノ造成ニ依ツテ何等利得ヲ致シテ居ラヌ次第デアリマス、是ガ日本ノ産業ニ及ボス影響ハ非常ニ大キイノデアリマス、隨テ家畜ヲ養フ所ノ資源ガ無イ爲ニ高價ナル金肥ヲ入レマシテ、此ノ爲ニ農民ハ非常ナル負債ニ苦ンデ居ル現状デアリマス、仍テ私共ハ斯ウ云フ方面ヲ將來御調査ヲ戴キマシテ、ドウシテモ或ル場合ニハ農地調整法ノ發動ニ依リマシテ其處ニ畜産資源——眞ニ有畜農業ノ基礎ヲ確立シテ戴キタイト御願ヲ致ス次第デアリマス

第三ニハ畜産組合法ノ改正ニ付キマシテ、先程大臣ノ御話モアツタノデアリマスガ、種馬統制法案ニ依リマシト昭和二十年ヲ限度ト致シマシテ大體種馬ハ國有ト相成ルノデアリマス、現在ノ畜産組合法ニ依レバ馬ガ生産サレタ場合ニ於キマシテハ、一割前後ノ賦金ヲ其ノ組合ニ納付ヲ致シテ居ル次第デアリマス、例ヘバ二百圓ノ幼駒ヲ生産致シマスレバ二十圓ト云フ多額ノ賦金

ヲ其ノ組合ニ納付致シテ居ルノデアリマス、何ノ必要デ納付致シタカト申シマスレバ、牝馬ヲ持ツテ居ル各生産者ガ如何ニモシテ種牡馬ヲ組合デ購入致シマシテ、サウシテ生産ヲ營ミタイ、サウ云フ根本ノ理由カラ致シマシテ、多額ノ賦金ヲ現在納付致シテ居ルノデアリマス、若モ昭和二十年ニ至リマシテ此ノ種牡馬ガ全部國有トナツタ場合ニ於キマシテハ、各生産者ノ畜産組合法ニ依ル賦金ノ納付ハ殆ド意味ナキモノト相成ルノデアリマス、大體此ノ畜産組合ハ牛馬ヲ對象トシテ組織致シテ居ルノデアリマスルガ、政府ノ計畫ニ依リマシルト、近キ將來ニ於キマシテ牛ニ於キマシテハ二百五十萬頭、馬ニ於キマシテハ大體百五十萬頭ヲ繋畜スル、斯ク致シマスレバ約四百萬頭ノ牛馬ガ國內ニ繋畜サレルコトト相成ルノデアリマス、若モ組合法ノ改正ニ依リマシテ、牛馬ヲ所有スル組合員ガ一頭當リ五十錢ノ金ヲ實際納付致ストナリマスレバ約二百萬圓ノ組合費ト云フモノハ、其處ニ徵收サレ得ルノデアリマス、一事ニ五十錢ノ税金ヲ牛馬ニ依ツテ支拂フト云フコトハ、民間ニ於テハ敢テ苦痛デナイノデアリマスガ、二十圓ナラ二十圓ト云フ所ノ多額ノ費用ヲ收メルト云フコトハ、而モソレハ收益ニ依ル課

税デナイノデアリマス、唯馬ヲ生産スルカラ取ラレル、損ヲシテモ取ラレル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、驢テ政府ノ種馬統制ノ結果、種牡馬ハ全部國有ニ相成ル場合ト相俟ツテ、私共ハ現在ノ生産賦金ヲ撤廢致シマシテ、組合支辨ト致シテ、組合ノ費用ヲ以テ支辨スルヤウニ改正スルコトガ必要ト思フノデアリマス、現在ノ畜産組合ノ賦金ト云フモノハ、大體ニ於テ日本全國ニ亙ツテ二百万圓程度ト思フノデアリマス、

是ハ獨リ生産者ガ多大ノ負擔ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、組合員ハ些少ノ負擔モ致シテ居ラズ、唯生産シタ者ノミガ支辨シテ居ルヤウナ狀態デアリマスカラシテ、ドウゾ政府ニ於キマシテハ將來御調査ノ上、昭和二十年前ニ此ノ畜産組合法ノ改正ヲ致シマシテ、馬匹ノ生産者ニ適當ナル負擔ヲ與ヘザルヤウ、私共ハ御改正ヲ願ヒタイト思フ次第デアリマス、此ノ點ニ對シマシテ政府ニ將來サウ云フ御意思アルヤ否ヤト云フコトヲ、一寸御伺致シタイ次第デアリマス

○櫻内國務大臣 只今ノ土田君ノ御意見ハ、吾等ト致シマシテモ深ク考ヘナケレバナラス所デアリマスガ、ソレハ今十分研究シテ居ラヌノデアリマスカラシテ申上ダ兼ネマスケレドモ、畜産組合法ノ第十四條ニ依ツテ、歩合金ヲ出シテ居ルコトヲ御話ニ

次ニ第四ノ問題ト致シマシテ、馬ノ年齢ヨリ來ル能力ノ差等ニ關シ、如何ナル鍛鍊ヲ致スカト云フコトヲ私ハ軍部ノ當局ニ伺ヒタイト思フノデアリマス、由來天賦ノ能力アル馬デアリマシテモ、ヤハリ日本ノ優秀ナル國民デアリマシテモ軍隊教育ヲ受ケテ始メテ國防ノ一線ニ立ツヤウニ、馬モ恰モ斯ノ如キ關係ガアリマシテ、如何ニモシテ軍馬トシテ鍛鍊ヲ經テ、初メテ眞ノ威力ヲ發揮シ得ルノデアリマス、然ラバ馬ノ年齢ハ如何ナル場合ニ鍛鍊シテ相當デアルカ、私共ノ考カラ見マスレバ、三歳、四歳、五歳、此ノ三箇年ハ馬ヲ馴致スルニ最モ宜キ年齢ト思フノデアリマス、一旦馴致サレタ馬ハ、其ノ後ニ於テハ非常ニ體力ト力量ヲ増スノデアリマスガ、其ノ際ニ於キマシテハ、寧ロ其ノ體力ヲ利用スベキモノデアリマシテ、訓練スル必要ハ段々少クナツテ來ルト思フノデアリマス、例ヘバ軍隊ニ於キマシテ、最初ハ現役兵デアル、第二ニハ豫備兵デアル、第三ニハ後備兵デアル、第四ニハ國民軍デアル、斯ウ云フ風ニ、是ハ法令ニ依ツテ定マルカモ知レマセヌガ、先ヅ以テ最初ノ訓練ヲ三箇年トシ、次ニハ六、七、八、此ノ八歳マデハ之ヲ訓練サレタル馬ノ豫備的ノ鍛鍊ヲ致ス、ソレカラ九、十、

十一、此ノ三箇年ハ後備軍タル訓練デ足ル、最後ニ十二カラ十八歳マデノ七年間ハ退行年齢ノ場合デアリマスカラ、是ハヤハリ國民軍同様ナ訓練デ宜シイト思フノデアリマス、斯ク致シマスレバ相當訓練ノ費用ガ節約出來ルト思フノデアリマス、此ノ點對スル所ノ軍當局ノ御意向ヲ承ツテ置キタイト思フ次第デアリマス

○土田委員 只今ノ御話ヲ承リマシテ、法律ヲ改正セヌデモ賦金ノ徵收ヲ停止スルコトガ出來ルト云フコトハ勿論デアリマスガ、由來牛馬ニ對シマシテハ、元ハ地方税ト致シマシテ相當ナ牛馬税ト云フモノヲ、府縣ニ於キマシテ徵收シタコトガアルノデアリマス、併シナガラ牛馬ハ國策上必要デ

アルト云フノデ、此ノ三四年以前ニ於キマシテ牛馬税ヲ徵收スルコトハ出來ナイト云フコトノ法律ガ決定サレタノデアリマス、斯ウ云フノデアリマスカラヤハリ畜産組合法ニ於テ、之ヲ唯任意ノ問題トセズシテ、徵收スルコトヲ得ズト云フ風ニ將來御改正ヲ私共ハ要望シタイト思フノデアリマス、

○土田委員 只今ノ幼駒ト壯馬ニ分類致シ

明デ諒承致シマシタ

マシテ鍛鍊ヲ致スト云フコトハ、洵ニ結構ナコトト考ヘル次第デアリマス、而シテ幼駒鍛鍊ニ於キマシテハ、牝馬ハ其ノ幼駒鍛鍊ニヤハリ參助シ得ルノデアリマスカ、一寸其ノ點ヲ伺ヒタイ

○荷見政府委員 牝馬デアリマシテモ、軍用保護馬ニ指定致サレマシタモノハ、之ニ鍛鍊ヲ加ヘルコトニナリマス

○土田委員 只今ノ御説明ヲ承リマシテ、洵ニ有難ク考ヘル次第デアリマス、私共ハ只今ノ質問應答ニ依リマシテ、政府ノ意ノアル所ヲ十分諒解致シタ次第デアリマスルカラ、茲ニ深く感謝ヲ致ス次第デアリマス、私ノ質問ハ之ヲ以テ終了致シマス

○東委員長 坪山徳彌君

○坪山委員 折角實施期ニ入リマシタ第二次馬政計畫ヲ、如何ニ日支事變ノ結果トハ申シナガラ、急激ニ之ヲ變革ヲ來サナケレバナラヌヤウナコトニナツタニ付キマシテハ、國民ノ苟モ馬ニ多少ノ關心ヲ持ツテ居ル者ノ眼カラ見マス、今日マデノ馬政ニ關係ヲ持ツテ居ル者ハ、殊ニ軍部デアリマスガ、何ヲシテ居ツタノダト云フヤウナ、國民ノ間ニ斯様な疑ノアルコトハ到底否定スルコトノ出來ナイコトデアラウト思フノデアリマス、殊ニ滿洲事變以來國際關係ニ

於テモ、或ハ對「ソ」關係、或ハ日支關係ニ於テモ、早晚戰ハナケレバナラヌト云フヤウナ情勢ニアツタノデアリマシテ、戰爭スル場合ニ於テハ、其ノ戰場トナルベキ所ハ結局何處デアル、隨テ戰場トナル場所ガ決ル以上ニ於キマシテハ、或ハ地勢ノ關係、氣候、風土總テノ點カラヤハリ之ニ對處スベキ準備ガナケレバナラナカツタト思フノデアリマス、然ルニ折角第二次馬政計畫ガ實施期ニ入ツタニモ拘ラズ、急遽之ヲ改訂シナケレバナラヌト云フ結果ニ陥ツタコトニ付キマシテハ、只今申上ゲタ通り、少クトモ此ノ日本ノ馬政、馬ニ關心ヲ持ツテ居ル國民カラ見マシタナラバ、今日マデノ馬政ニ關係ヲ致シテ居ツタ者ハ何ヲシテ居ツタノデアルカト云フヤウナ疑ノ眼ヲ以テ見ラレルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、之ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 只今御質問ニナリマシタノハ、或ハ私ノ方カラノ答辯ヲ要求セラレタノデハナイカモ知レナイノデアリマスガ、一應申上ゲル次第デアリマス、御承知ノ通り從來ノ馬政計畫ハ、第二次計畫ニ於キマシテ大體ノ方針ガ決ツテ居ツタノヲ、此ノ度斯様ニ急激ニ變ヘルコトニナリマシタノ

ハ、支那事變ノ結果デアリマシテ、支那變ニ依ツテ得タル經驗、竝ニ支那事變ニ依ツテ起ツタ國際環境其ノ他有ユル方面ノ關係カラ考慮致シマシテ、ドウシテモ茲ニ改正ヲ致サナケレバ相成ラスコトニナリマシタノデ、現在提案シテ居ルヤウナ案ニ改正ヲ致シタ次第デアリマス、元カラモツト積極的ナ計畫ヲ立ナテ置カケレバナラヌノデハナイカト云フ御意見ニ付キマシテハ、全然御同感ノ意ヲ表スルノデアリマスケレドモ、御承知ノヤウナ狀態デアリマシテ、財政ノ關係其ノ他カラ其ノ目的ヲ達シ得ナカツタト云フ事情ニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○坪山委員 此ノ問題ニ付テハ餘リ深く追究ヲ致サナイ積リデアリマス、今回ノ第二次馬政計畫ノ改訂ニ付キマシテハ、陸軍トシテハ儼然トシテ或ル要求ヲ致シテ居リマス、サモアルベキコトト思ツテ居リマスガ、此ノ前ノ第二次馬政計畫ヲ決メルニ付キマシテハ、陸軍トシテハドシナ要求ヲ致シテ居リマシタカ、ソレヲ御伺致シタイト思ヒマス

○中村政府委員 只今ノ御質疑ニ對シマスル陸軍トシテノ御答ヲ致シマス、馬政第二次計畫ノ樹立ニ關シマシテ、陸軍ガ要望シテ

居リマシタ基礎事項ハ大體次ノヤウナモノデゴザイマス、色々アリマスガ要スルニ根本的ノ事項ヲ申上ゲテ置キマス、第一番ニ馬政ハ軍事上ノ要求ニ適應セネバナラヌ資質ヲ具備シテ居ル所ノ馬ノ戰時資源ヲ保持スルノガ其ノ目標デアルト、目標ヲ第一ニ示シテ居リマス、次ニハ產馬ノ方針ハ國防上特ニ緊要ナル有能乘輓馬ノ充實ニ重キヲ置クコトト云フ重點ヲ示シテ居リマス、第三ニハ數字上ニ觸レタコトヲ申シテ居リマスガ、是ハ御遠慮シタイト思ヒマス、大體根本ヲ申シマスルト其ノ三箇條ニ於キマシテ基礎的事項トシテ要望ヲシテ居ルノデアリマス、終リ

○坪山委員 第二次馬政計畫ノ決定ニ當リマシテモ、ヤハリ軍事上ノ問題ヲ主眼トシテ居ルヤウデアリマシテ、第二ニヤハリ國內ノ產業上ノ問題、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、具體的ニ今回ノヤウニ非常ニ細カクハ出テ居リマセスガ、大體ニ於キマシテ、ヤハリ軍事上ノ問題ヲ主眼トシテ居ツタノデアリマシテ、サウ大變革ヲ要スルヤウナ必要ハナカラウカト斯ウ思フノデアリマスガ、之ニ對シテドウ御考デアリマスカ

○中村政府委員 今ノ御質疑ハ先程農林大臣ノ御答解ニナツタコトト關係ヲシテ居ル

ノデゴザイマシテ、一應御尤ナ御質疑ト思
フノデアリマスルガ、併シナガラ陸軍ト致
シマシテモ、今回ノ此ノ事變ハ最初御承知
ノ通り不擴大カラ始マリマシテ今日ノ状態
ニナツテ居リマス、又國際四圍ノ關係モ御
承知ノ通りデアリマシテ、總テ事前ニ斯ウ
云フコトガ明ニ判斷出來テ居リマシタナラ
バ、或ハ馬政計畫モ今回提案ヲシタ計畫ガ
既ニ此ノ前ニ出來タカモ分リマセヌガ、ソ
コハ如何セン人智ノ及ブ範圍ヲ越エタコト
デ、仰セノ通りノ事情ニハアリマスケレド
モ、吾々ノ經驗ノ結晶ニ基キマシテ茲ニ敢
然トシテ前ノ計畫ヲ改メマシテ、其ノ改メ
方モ大體ノ根本ニ於テハ無論今申上ゲル通
リ大同小異デハゴザイマスガ、併シナガラ

其ノ實行ニ於テハ計畫ノ示ス如ク思切ツタ
改正デゴザイマシテ、是レニ先般改正ヲ
セラレマシタ計畫ノ骨子ニ基ク今次事變ノ
尊キ體驗デアリマス、然ラバナゼ是ガ見透
シガ付カナンダカ、斯ウ仰セニナレバ、是
ハ吾々ノ智力ノ及バナ所、經驗ノ不十分ナ
ル所ガ茲ニ至ツタト云フコトヲ申上ゲルヨ
リ外ハナイト思ヒマス、併シナガラ必要ヲ
感ジタ以上ハ、軍ト致シマシテハ前ノ計畫
ニ囚ハレルコトナク、茲ニ敢然トシテ新計
畫ヲ要望スルト云フコトハ、軍本來ノ目的

ニ鑑ミマシテ、又現下ノ時局ニ際シマシテ
當然ナルコトデハナйкаト思フノデアリマ
ス、此ノ點ヲ重ネテ御諒承ヲ願ヒタイト思
ヒマス

○坪山委員 是ハ事變ノ見透シノ問題ニナ
リマシテ議論ニナリマスカラ、是レ以上私
ハ申上ゲタクナイト思ヒマス、併シ此ノ大
ナル變革ニ依ツテヤハリ國民ノ一部——馬
ノ生産者及ビ育成者ハ共ニ非常ナル負擔ヲ
シナケレバナラヌコトヲ覺悟致サナケレバ
ナラヌノデアリマシテ、サウ云フ點ヲ考ヘ
マスレバヤハリ私ノ質問モノニ至ルモノ
ト思フノデアリマス、唯併シ是以上ハ議論
ニナリマスカラ、是デ此ノ問題ハ打切りタ
イト思ヒマス

次ニハ是モ陸軍ニ關係ヲ持ツ問題デスガ、
馬ノ徵發官ノ任免、是ノ選定ニ當リマシテ
ハ餘程適材適所主義、當然サウ云フコトハ
心掛ケテ居ラレルコトデアラウトハ存ジテ
居リマスガ、併シチヨイ——吾々ノ眼ニ映
ジ、或ハ考ヘ浮ブ點カラ見マス、ドウモ
其ノ點多少徵發官ノ適材適所主義ニ缺クル
點ガアルノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ吾
吾ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ動員等
ニ依リマシテハ人員等ノ關係モアリマスノ
デ、急速ニ之ヲ決定シナケレバナラヌヤウ

ナ立場ニ於キマシテ、中々思フヤウニ行カ
ヌコトハ吾々モ承知ヲ致シテ居リマス、併
シ一タビ馬ヲ徵發スルコトニナリマスレバ、
良イ馬ガアレバ勿論ノコト、其ノ人ノ眼ニ
映ジタ評價ニ依ツテヤハリ之ヲ買上ゲルコ
トニナルノデアリマシテ、餘程其ノ途ニ長
ケテ居ル者デナイト、相場通り良イ馬ヲ高
ク買ヒ、惡イ馬ヲ安ク買フト云フコトデア
リマスレバ問題ハナイノデアリマスケレド
モ、其ノ間ニ中々見落シガアル、隨分ヒド
イ馬ヲ高ク買ツテ、良イ馬ヲ相場ヨリハ甚
シク懸隔ヲ付ケテ買フト云フヤウナコトガ
アツテ、國民ノ一部ニハ相當不平、不滿ガ
アル、斯ウ云フ點ニ付テハ何デモナイヤウ
ナ問題デアルガ、ヤハリ其ノ人ヲ得ル點ニ

於テ、第一線ニ立ツ將官等ニ付キマシテモ
其ノ人選ニ重キヲ置クコトハ勿論デアリマ
スケレドモ、ヤハリ其ノ眼ニ映ジタ價格ヲ
以テ直チニ徵發ヲスルト云フヤウナ、サウ
云フ國民ニ甚大ナル影響ノアル係官ニ付キ
マシテハ、特ニ更ニ——細心ノ注意ガ必要
デハナカラウカト思フノデアリマスガ、之
ニ對シテノ御考ヲ承ツテ置キタイノデアリ
マス

アルト云フ御指摘ハ全ク御説ノ通りデアリ
マス、サレバ軍ハ諸計畫ニ於キマシテ最モ
適所適任ノ措置ヲ執ツテ、成ベク只今ノ御
趣旨ニ副ヒ、此ノ重大ナル事業ヲ圓滑ニス
ルベク十分努力ヲシテ居ルノデゴザイマス
ルガ、戦線ガ大キクナリ、豫後備ヲ召集ス
ル、色々ナコトニナリマシテ、此ノ徵發官
モ必ズシモ適材適所ニハ當ツテ居ラヌコト
ハ私モ十分之ヲ認メテ居リマス、將來ハ尙
ホ一層注意ヲ致シマシテ、御期待ニ副フヤ
ウニ努力ヲ致シマス、併シナガラ又軍ノ全
面的ナ大キナ一ツノ範圍カラ、逐次或ハ多
少素質ノ劣ル者モ加ハルコトガアルノ已ム
ヲ得ナイコトダケハ是非皆様ノ方ニ於テモ
御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○坪山委員 馬ノ徵發ノ問題デスケレド
モ、最初デアレバ已ムヲ得ナイト思フノデス
ガ、馬ノ分布其ノ他ノ關係ヲ當然考慮セラ
レテ徵發官モ爲サレテ居ルコトデアラウト
ハ考ヘテ居リマスガ、例ヘバ一例ヲ舉ゲマス
レバ、或ル町村デハ二回、三回ノ徵發ヲサ
レナケレバナラヌ、一タビ徵發ヲサレ、更
ニ又馬ヲ買入レタ、ソレモ亦徵發ヲサレル、
又次ニ買入レテ、又徵發サレル、斯ウ云フ
部分ガアルニモ拘ラズ、直グ其ノ隣デハ一
回モ初メヨリ、徵發ガナイト云フヤウナ町

村ガ決シテ少クハナイヤウデアリマス、尤モ私ノ縣ハ馬ガ相當數アルノデ、徵發區モ三ツノ管區ニナツテ居ルヤウデアリマス、例ヘバ十四師團關係、或ハ三師團關係、或ハ四師團關係ト云フコトニナツテ居リマスガ、最初デアレバ已ムヲ得ナイガ、斯ウ事變ガ長引クニ於キマシテハ、ヤハリサウ云フ跛ナコトハ成ベク是正スルコトガ宜シイノデハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、一方デハ二回三回ト徵發サレタ町村ガアル、直グオ隣リ同士デ一回モ徵發ガ來ナカツタト云フヤウナ町村ガアル、殊ニ又師團關係ニ於キマシテ評價ガ一定シテ居ラス、例ヘバ同ジヤナウ狀態ノ馬ヲ飼ツテ置ク町村デアリマシテ、一方デハ平均額ガ三百圓デアアル、或ル師團ノ管區デハソレガ三百二十圓ニナツテ居ルト云フヤウニ、非常ニ不公平ニナツテ居ル、尤モ馬ノ價格ト云フモノハ是ハ生キ物デアリマスカラ、同ジヤウナ狀態デアツテモ中々是ハ容易ナコトデハナイ、併シナガラ馬ニ多少デモ興味ヲ持ツ者ハ、殊ニ馬喰ト言ヒマセウカ、サウ云フ者ハ他ノ人ヨリハ非常ニ目ガ鋭敏デアアル、中々口ガヤカマシイ、徵發スル町村ニ付キマシテモ平均ニスルコト、相場ノ點ニ於キマシテモ餘程細心ノ注意ガ必要ダト思

フノデアリマスガ、是等ニ對スル御考ヲ承リタイト思フノデアリマス
○中村政府委員 第一ノ御問ニ付テ御答シマス、是ハ詳シク此處ニ計畫ヲ取寄セテ詳細ニ調査ヲ致シマシタナラバ十分御納得モ行クカト思ヒマスガ、總テ事公開ヲ許シマセヌカラ、大體ノ概念ヲ申上ゲマシテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、今仰セノヤウナコトハ當然アルダラウト思ヒマス、併シ其ノ度ガドウナツテ居リマスカ、其ノ徵發ノ程度ニ依ツテ少シク考ヘサセラレル點モアルノデゴザイマスガ、各徵馬管區ハソレノ定メラレタル部隊ニ配當シテアルノデアリマシテ、又一方作戰ノ要求カラ某部隊ヲ動員致シマス、サウスルト其ノ動員ニ依リマシテハ同一管區ニ重ネテ一二三四ト斯ウ云フヤウニ重ツテ行ク場合ガアルノデアリマス、然ル場合ニハ甲ノ地方ニ於キマシテハ盛ニ徵發サセラレテ居リマス、河一重向フ、谷一重向フノ地域ニ於テハ一度モ徵發ハナイ、甚ダ不合理ノヤウニ其ノ土地ニ於テハ窺ハレルノデアリマスガ、併シ是ハ計畫ニ基クコトデアリマシテ、若シ夫レ全部ノ計畫シタル部隊ヲ全部根コソギ出シ、計畫者ノ豫想スル相當ナ年期ニ互リマシテ戰ガ續クト云フコトニナリマス、今ノヤウナマ

ア不公平ト申シマスカ甲ニアツテモ乙ニハナイ、甲カラ取ツテ乙ハ取ラスト云フヤウナコトガナク、大體ニ馬產地ノ狀況ニ依ツテ普通ニ行クヤウニ計畫セラレテ居ルノデアリマスガ、其ノ途中、過渡期ニ於キマシテハ今ノヤウナ事實ガ所々アルダラウト思ヒマス、此ノ點ハ左様一ツ御諒承ヲ願ヒマス、是ハ人ニ付キマシテモ全ク其ノヤウナ關係ガ出來テ居ルノデアリマス、殊ニ人ニ付テハモウ一ツ年寄ノ方ダケ出テ若イ者ガ出タイト云フヤウナコトモアルノデアリマスガ、是モ全ク今ノ部隊充用ノ關係デゴザイマス

次ノ御質疑デゴザイマスガ、評價ト云フコトハ中々難カシイコトデアリマスノデ、軍ト致シマシテモ十分注意ヲ致シマシテ殊ニ今次事變ニ際シマシテハ、今マデトハ違ヒマシテ相當ニ地方ノ方ニ御迷惑ノ掛ラスヤウニ注意ヲシテ居ル積リデゴザイマスガ、如何セン市價ガ非常ニ暴騰ヲシ又其ノ變動モ激シイノデゴザイマシテ、甲地方デ動員ヲシタ場合ノ値ト又若干月經ツタ乙地方デヤツタ場合ト違フヤウナコトガ出來テ居ルノデゴザイマスガ、併シナガラ中央部ト致シマシテハ十分之ヲ統制ヲ致シマシテ、今御指摘ニナツタヤウナコトハナイヤウニ努メテ居ルノデアリマス、ヤハリ急激ナル市價ノ變動其ノ他徵發時期ガ各般ニ互ルノデ左様ナコトガアルト思フノデアリマス、ドウカ是モ併セテ一ツ御含ミヲ願ヒタイト思ヒマス
○坪山委員 馬ニ對スル取扱上ノ教育ト云フ問題デゴザイマスガ、是ガドウモ今マデ餘リ力ノ入レ方ガ足リナカツタノデナカラウカト思フノデアリマス、勿論豫測シナカツタ今次事變ミタイナ大キイ問題ニナリマスレバ、ドウモ已ムヲ得タイト言ヘバ已ムヲ得タイト問題ニモナリマスガ、折角馬ヲ徵發シテ買上ゲマシテモ、之ヲ取扱フ兵ニ於テ全ク馬ヲ取扱ツタコトガナイ、其ノ結果自分ノ不注意ノ爲ニ馬ノ用役ヲ達スルコトガ出來ナクシテシマツタト云フヤウナコトラチヨイノ耳ニ致スノデアリマスガ、殊ニ長イ間飼馴レタ馬ガ折角徵發ニナリマシテ、其ノ飼主ノ者カラ見マスト、全ク其ノ馬ニ別レル場合ニ於テハ、一方ニ於テハ萬歳ノ聲デ送り、一方ニ於テハヤハリ涙デ別レテ、サウシテ戰地ニ行ツタナラバ十分働イテ來イ、馬ニサウ申シテ別レ、馬ノ方デモ聲コソハ出サナイケレドモヤハリシツカリヤツテ來マスト言ウテ折角別レテ行ツタモノガ、其ノ取扱者ガ馬ニ對スル教育ガ不

十分ノ爲ニ戰地マデ行ケズシテ途中デ斃レルヤウナコトガアツタト假定ヲ致シタナラバ、洵ニ其ノ馬ヲ出シタ者ハ勿論ノコト、馬トシテモ終生安ラカニ眠ルコトハ出來ナカラウト思フノデアリマス、常日頃ヤハリ馬ニ對スル取扱上ノ教育ニ付テハ、更ニ一段ノ力ヲ入レベキガ當然ダト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ノ御考ヲ御伺致シタイト思フノデアリマス

○荷見政府委員

馬ノ教育ト云フコトニ付キマシテハ御話ノ通りニ非常ニ大事ナコトト考ヘルノデアリマス、今回私共ノ方ノ計畫ト致シマシテハ、青少年ノ學校トカ或ハ農學校等馬ニ關スル教育ヲスル際ノ便宜ヲ與ヘル爲ニ若干ノ豫算ヲ計上致シテ居ルノデアリマス、是ガ成立致シマスレバ十分トハ申セマセヌガ幾分カハ其ノ效果ヲ發揮スルコトト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ此ノ點ニ付キマシテハ關係各省ノ間ニ於キマシテモ意見ハ何レモ相一致シテ居ル點デゴザイマスノデ、經費ノ關係トハ別個ニ又精神的ノ方面ニ於キマシテモ一緒ニナリマシテ、御話ノヤウナ趣旨ヲ達スルヤウニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○坪山委員

馬ニ對スル常日頃ノ教育、是ハ中々面倒ナ問題デアリマスルガ、私ハ小

學校或ハ中等學校ノ教科書ニ對シマシテモ、是ハ文部省ノ關係ニモナリマスガ、ヤハリ馬ニ對スル教科材料ヲ挿入ヲスルナリ或ハ青年學校ノ訓練ノ中ニ馬ノ取扱ニ對スル課程ヲ入レル或ハ中學校ノ教練ノ中ニ

〔委員長退席、大石委員長代理著席〕

馬ニ對スル取扱方ヲ必須課程トシテ入レベキガ當然デナカラウカト思フノデアリマス、壯丁検査ノ結果ハ其ノ多クノ者ガヤハリ馬ニ關係アル兵科ニ屬スルノデアリマシテ、騎兵科ハ勿論ノコト、砲兵科、輜重科、又今日デハ歩兵科ニモ相當機關銃トカ色々アリマシテ、馬ニ關スル點ガ随分多イノデアリマス、ドウシテモヤハリ常日頃相當ノ準備ト教育ヲサスル必要ガアラウト思フノデアリマス、青年學校ノ訓練、中等學校ノ教練ノ課程ノ中ニモ、ヤハリ是等ヲ挿入シテ徹底シタ馬ニ關スル教育ヲ施スコトガ、必要デハナカラウカト思フノデアリマスガ、之

ニ對シテハドウ云フ御考ヲ御持チデセウカ

○林政府委員

只今坪山議員ノ御話ノ御趣旨ハ、大變結構ト思ヒマスガ、各青年學校ニ馬ノ取扱ヲ爲サシメルコトニ付キマシテハ、諸設備其ノ他ニ付テ多額ノ經費ヲ要スルノデハナカラウカト思フノデアリマス、尙文部省アタリニ其ノ御意向ヲ傳ヘマシテ

將來馬ヲ扱ヘルヤウニ努力ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○坪山委員

今大分經費ガ掛ルト云フ御答モアリマシタガ、勿論仕事ヲスルニ於キマシテハ多少ノ經費ハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、地方ノ青年學校等ニ於テハ、大變ナ經費ハ私ハ掛ラスト思フノデアリマス、地方ニハ大概馬ガ居ルノデアリマシテ、ソレヲ借リルナリ何ナリシテ、サウシテ其ノ取扱方法ヲ教授スル、是等ノ程度デ十分ダト思フノデアリマス、唯都會地ノ青年學校トカサウ云フ所ニ對シテハ相當ノ經費ガ掛ルト思フ、經費ハ掛ルガ併シハ大都會地ノサウ云フ所ニコソ、極メテ必要ナル問題デアラウト思フノデアリマス、ドウカ是ハ經費ノ如何ヲ論ゼズシテ、是非其實現ニ向ヒマスルヤウニ、特ニ私ハ御配慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、經費ガ掛ルト云ヒマスルガ、併シ實際馬ノ教育ヲ十分ニシナイ爲ニ、折角馬ヲ徵發致シマシテモ、戰地マデヤラズニ殺シテシマツタト云フヤウナコトト考ヘタ時ニ於テハ、決シテ私ハ經費ノ問題デハナカラウト思フノデアリマシテ、何等ノ躊躇モ要ラヌト思フノデアリマス、ドウカ此ノ點ニ付キマシテハ特ニ政府ノ方ニ於キマシテモ注意ヲサレマシテ、サウシテ是ガ實現ニ向ツテ御努力ヲ願ヒタイ

ト思フノデアリマス、此頃デハ馬ニ關係ヲ持ツテ居リマス者ノ間ニ於キマシテモ、馬ノ認識ト云フ點ニ付テ大分御骨折ノヤウデアリマス、近クハ軍馬ノ行進、或ハ此頃デハ愛馬進軍歌ト云ヒマスカ、斯ウ云フモノヲヤリマシテ、サウシテ本當ニ國民ノ間ニ馬事思想ヲ徹底セシメルコトハ、吾々モ勿論大イニ贊意ヲ表シテ居ル點デアリマス、併シ實際ニ於キマシテハ私ハ斯様ナ生溫イコトデハ、決シテ徹底ヲ致サヌト思フノデアリマス、殊ニ大都會ノ者ハ馬ヲ見タコトモナイ、繪ニ描イタ馬カ、或ハ寫眞ヲ見タ位ノモノデアアル、愛馬進軍歌ハ都會ノ人ハ上手ニ誦ヒコソ致シマセウケレドモ、アノ愛馬進軍歌ノ眞味ヲ味ハウコトノ出來ル者ハ少クトモ馬ヲ取扱ツタ者、或ハ馬ト共ニ生命ヲ賭ケテ戰場ヲ馳驅シタ軍人軍屬以外ニハナイト私ハ思フノデアリマスガ、國民ニ更ニ馬事思想ヲ徹底セシメル爲ニ、何か具體的の方策ヲ持ツテ居ルカドウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員

只今御話ノ點デアリマスガ、私最初ニ申上ゲタ時ノ説明ガ、少シ盡シテ居ラナカツタカト思ヒマス、青年學校等ニモ馬ノ教育ヲ施ズト申シマシタガ是ハ農村ノコトヲ申上ゲタ譯デハナイノデアリ

マシテ、只今御話ノヤウナ都會地ノ青年學校等ニ對シマシテモ、馬ノ買上ノ方法ヲ講ゼシメテ、政府ハ其ノ買上ニ對スル補助ヲスルヤウナ方策ヲ講ジテ、御話ノヤウナ馬ニ親ミノ薄イ部面ニ對シテモ、教育ヲ徹底サセヨウト云フ趣旨ナノデアリマス、ソコハ御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス、唯ソ

レニ對スル豫算ハ財政上ノ都合モアリマスノデ、中々多額ニハ計上シ兼ねルノデアリマスガ、出來得ル範圍ニ於テヤル、尙ホ豫算ナドト云フコトハ別問題ト致シマシテモ、精神的ニモ努力スル積リデ居リマス、斯ウ云フ風ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○坪山委員 昨日モ泉君カラ話ガアリマシタガ、私ハ軍馬ハ一ツノ兵器デアルト思ツテ居ルノデアリマスガ、間違ヒアリマセヌカ

○中村政府委員 御説ノ通りデアリマス

○坪山委員 今回ノ事變ノ結果カラ見マシテ、兵器ヲ製造シテ居ル工場其ノ他ハ軍需景氣ト言ヒマスガ、到ル所驚クベキ景氣ヲ出シテ居ル、勞働者ハ殆ド此ノ方ニ集中ラセラレテ、非常ナ好景氣デアリマス、然ルニ同ジ兵器ヲ造ル所ノ馬ノ生産地、育成地ハ、景氣ガ之ニ伴ハザル理由ハ、何處カ政治ノ上ニ缺陷ガアルノデハナカラウカト思

フノデスガ、之ニ對シテノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○荷見政府委員 今回ノ馬政計畫ノ實行ニ伴ヒマシテ、只今御審議ヲ願ツテ居リマス軍馬資源保護ニ關スル制度、殊ニ軍用保護馬ノ制度ヲ設ケマシテ、軍用ニ供スル馬ニ對シテ十分ニ飼育ヲ助成スル、或ハ種馬統制法ヲ制定致シマシテ、之ニ財政ノ許ス限リ相當ノ援助ヲスルト云フヤウナ方面ニ、努力ヲ致スコトニ致シテ居リマス、是ハ一面ニ於キマシテハ飼育ノ便宜ヲ圖リ、又生産費ノ低減ノ方ニモ十分資スル、或ハ牧野ニ關スル施設ヲ出來ル限リ擴充致シマシテソチラノ方面ニモ努力致シマス、是等各般ノ仕事ハ馬ガ兵器デアルト申シマスガ、軍事上極メテ重要ナル地位ヲ占メテ居リマスカラ、之ニ對シテ遺憾ナキヲ期シタイト云フ趣旨デゴザイマス、是ハ吾々ノ精神ノ在ル所ハ十分御諒解ガ行クコト考ヘテ居ルノデアリマス

○坪山委員 私ハ此ノ馬ガ現在他ノ物價ニ比較致シマシテ、ドナタカラモ御議論ガアリマシタガ、安過ギルノデハナカラウカ、殊ニ昨日材料トシテ手許ニ戴キマシタ物價指數カラ考ヘマシテモ、昭和四年ガ一〇〇ト致シマシテ、總テノ物價指數ハ一四一・二

ニナツテ居リマス、然ルニ此ノ軍馬ハ昭和四年度ガ一〇〇ト致シテ幼駒ノ方ハ一七・九、牡馬ノ方ハ昭和四年度ガ一〇〇ニ對シテ九五・二ト云フ物價指數カラ考ヘテモ、私ハ餘リ安過ギルデハナカラウカト考ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ關シマシテドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ

○中村政府委員 詳シイ御説明ハ農林當局カラ附加ヘラレルカモ知レマセヌガ、一應私カラ御答ヲ致シマス、只今マデ拜聴致シテ居リマシタガ、色々ノ點ニ特ニ愛馬心ヲ御高調ニナツテ戴タイコトハ、私共トシテハ實ニ感謝感激ノ至リデアリマス、殊ニ私ノ如ク戰場ニアリマシテ後方ノ多クノ部隊、殊ニ目ノアタリ澤山ノ馬ヲ扱ヒマシタ者ニ於キマシテハ、實ニ涙ノ出ル程嬉シク、又感激ヲシテ居ル次第デアリマス、隨テ此ノ軍馬ニ關スル教育、愛馬心ノ向上ト云フコトニ付テハ非常ニ努力ヲシ、又最近一層其ノ聲ヲ昂メテ居ルコトハ、御諒承ノ通りト思ヒマス、之ニ付キマシテ先程馬ハ兵器ナリヤ兵器ナラズヤト云フヤウナ御質疑モ出テ、私ハ簡單ニ御説ノ通りデアルト斯ウ申シテ置キマシタガ、私共ハ其ノ兵器ト云フ考ガ、又一層是ハ異ツタ意味ノ兵器デゴザイマシテ、彼ノ物ヲ言フ——或ハ大砲ハ

物ヲ言フト言フカモ知レマセヌガ、先程來御話ノ通り馬ハ物ヲ言フ活動物デアアル、其ノ活動物ガ戰場ニ於テ同ジク重イ大砲ヲ持ツテ山ヲ駈登ル其ノ馬ノ意氣ト、馬ノ功勞カラ考ヘマスト、吾々ハ同ジ軍ニ缺クベカラザル重要ナモノデアリマスガ、鐵カラ出來タ大砲ト、生レ落ツルカラ吾ガ子ノ如ク可愛ガツテ育テタ其ノ馬トハ、其處ニ一ツノ情ガ加ハリマシテ、格別ナモノデアアルノデハナイカト云フ判斷カラ致シマシテ、次デ價格ノ問題ニ及ブノデアリマスガ、無論價格ニ付テ御指摘ニナツタ點モ、サルコトデハゴザイマセウ、又吾々トシテハ十分地方ノ生産モ考ヘ、御希望ニ副フヤウニ努メネバナリマセヌガ、更ニ私ガ一ツ御願シタイコトハ、此ノ活兵器デアアル軍馬ヲ提供セラレル地方ノ御方々、殊ニ此ノ軍馬ヲ戰場ニ送り出サレタ其ノ御家庭ニ於キマシテハ、餘程誇リ高イモノガナクデハナラヌト思ヒマス、先程來人ヲ送ル時ト同ジヤウナ御氣持デアルト仰シヤツタガ、洵ニ其ノ通りデアアルノデハナイカト思ヒマス、此ノ點ニ付テハ私ハ何ヨリモ偉大ナル功績ヲ、無言ノ間ニ顯ハシテ居ルノデハナイカ、吾々ガサウ云フ感謝ノ念ヲ、此ノ馬産地方ノ馬ヲ戰場ニ出サレタ御家庭並ニ方々ニ持ツテ居

ル其ノ觀念ト云フモノト、馬ヲ普通ノ兵器トシテ之ヲ金錢上ニ相並行スルヤウニ比較シテ行クト云フコトノ其ノ考トニハ、全然精神的ニ考ヘテ居ル點ガ非常ニ違フト云フコトヲ、特ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテ其ノ指數ガドウナツタカト云フコトハ、若シ御調ガアツタナラバ農林當局カラ御答願フコトニ致シマス

○荷見政府委員 只今ノ指數ノ問題ニ付キマシテハ、私今此ノ席デ伺ヒマシタノデ、或ハ其ノ通リカト思ヒマス、何レ私ノ方デモ調査致シマス、唯最近ニ於キマシテ馬ノ價格ガ非常ニ騰貴シタト云フコトヲ、常ニ言ハレルノデアリマスガ、一面ニハ是デハ價格ガ引合ハナイノデアルト云フ御意見モ聽クノデアリマス、是ハ生産者ノ方ノ御話ト、需要者ノ方ノ御話ト、兩方吾々ノ耳ニ入ツテ居ルノデアリマス、然ラバ如何ナル價格ガ適正ナリヤト云フコトハ、是ハ外ノ一般物價ト同ジニ甚ダ困難ナコトデアルト私ハ信ジテ居リマス、但シサウ云フ理窟ヲ言ツテ居ツタノデハ、適正ナル政治ト云フモノハ難カシイト私共ハ考ヘマシタノデ、兎ニ角關係者ノ知識ヲ集メマシテ、最モ情勢ニ適合シタ——只今御話ノ物價ノ點ハ是ハ商品トシテノ立場カラノ御議論ノ論據ニ

ナルト思ヒマス、兎ニ角物價ノ關係モ見、

ソレカラ生産ノ他ノ條件等ノ關係モ見、有ユル方面ノモノヲ見比べ、又研究モ致シマシテ、成タケ至急ニ妥當ナル價格ト云フ風ナモノノ標準ヲ發見シ、又ソレニ相應スル價格ヲ現ハスヤウナ取引ノ組織モ決メテ、改善スルコトガアレバ改善スル、勿論人智デヤル仕事デアリマスカラ、完全無缺ナコトハ難カシイト思ヒマスケレドモ、吾々ガ研究シ得マシタ程度ニ於キマシテノ馬ノ價格ノ妥當性ヲ發見シタイト云フヤウナコトカラ、前々カラ申シマスヤウニ陸軍ノ御當局等トモ密接ナル連絡ノ下ニ、協議ヲ致シタイト云フノデ、昨年折角協議會ヲ設ケテ、研究ヲ進メテ居ル譯デアリマス、其ノ研究モ急イデ致シマスケレドモ、其ノ研究トモ又別箇ニ、地方ノ實情等ニ付テモ、十分此ノ後モ熱心ニ研究致シマシテ、成タケ生産者ニモ御迷惑ニナラヌヤウニ、又一般ノ需要者ニ對シテモ不便ヲ與ヘマセヌヤウニ、妥當ナル所ニ落著ケルヤウニ、最善ヲ盡シタイト考ヘテ居リマス、唯、今ドウモスレバト云フ御話ヲ伺ヒマシテモ、ドウモ的確ニ斯ウ云フ標準ニ依ツテ斯ウヤルト云フコトヲ申上ゲルト云フコトハ、私ノ知識ガソコマデ出來テ居リマセヌ、ソコハ惡シ

カラズ御諒承ヲ願ヒマス

○坪山委員 只今政府委員ノ方ヨリ、此ノ馬ヲ所謂馬產地ト云ヒマセウカ、或ハ馬ノ育成地ト云ヒマセウカ、國家ニ對スル忠誠ノ念ノ極メテ厚イコトニ付キマシテ、御褒メノ言葉ガアリマシタガ、勿論馬產地或ハ馬ノ育成地ニ於キマシテモ、人ハ人トシテ、ヤハリ此ノ國難ニ相當數殉ジテ居ルノデアリマシテ、其ノ外ニ更ニヤハリ自分ノ腕トモ特ミ、或ハ足トモ特ム所ノ愛馬ガ、軍ニ從ハナケレバナラスト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマシテ、國家ニ對スル忠誠ノ念ニ於テハ、決シテ他ノ地方ノ人ニ勝ルトモ、斷ジテ劣ツテハ居ラナイト私ハ確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、只今政府委員ノ方カラモ、大分感謝ノヤウナ御言葉ヲ戴キマシタガ、是ハ當然ノ事デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレデ今ハ馬ノ價格ノ問題ニ付テデアリマスガ、指數ノ問題ハ御答辯ニナラヌヤウデスガ、ソレハ已ムヲ得ナイト思ヒマスケレドモ、此ノ參考書デスガ、是ハ御認メニナルノデアリマスガ、間違ヒアリマセヌカ

ハ、自己ノ立場カラ一應研究ヲ致シテ見タイト思ヒマス、ソレハ慥カ軍馬ノ購買ノ價格等ノ御調デアラウト思フノデアリマシテ、一般市場ニ於テ取引サレテ居リマス馬ノ價格、或ハ一般市場ノ物價ト云フ風ナモノトノ關係デアリマス、又別ノ材料カラ出ルノデハナイカ知ラント思ヒマス、只今モ申上ゲマシタヤウニ、私只今此ノ席デ其ノ數字ノ御話ヲ伺ツタノデアリマシテ、何トモ申上ゲラレマセヌ

○坪山委員 是ハ陸軍省ノ方カラ出テ居ルヤウデアリマシテ、軍馬ノ購買價格ト云フノハ、寧ロ一般市場ノ價格ヨリモ概シテ高イコトニ、吾々ハ馬ニ關シテハサウ解釋致シテ居リマスガ、サウ云フコトニナリマスルト、農林省ノ方ノ調ハ、ヤハリ物價指數カラ見ルト、是レ以下ニナルノデヤナカラウカト思フノデアリマス、軍馬ハ今日マデ事實ニ於テ一番高イノデスガ、併シ是デ議論ヲ盡シテ居ツテモイケマセヌカラ、此ノ程度デ止メタイト思ヒマス、ソコデ先程モ御話ガアリマシタガ、馬ノ公正妥當ナル價格ヲ決メルト云フコトニ、大分御進ミノヤウナコトデアリマスガ、是ハ是非トモ成ベク早く、別ニ高イバカリヲ吾々ハ望ムノデハナクシテ、他ノ物價ニ比較シテ公正妥

當ナル價格ヲ決メル點ニ付テ、唯調査研究ニバカリ名ヲ藉リテ居ツテモ日ガ暮レテシマヒマスカラ、ドウカサウデナク、少シハ拙クテモ早く決メテ貰フコトニ私ハ希望致シテ置キマス、馬ヲ高ク買ツテ貰フト云フ話デアリマシタガ、私ハ更ニヤハリ馬ノ生産費、或ハ育成費ヲ低下スルト云フコトニ付テモ、決シテ細心ノ注意ヲ怠ツテハ相成ラスト思フデアリマスガ、之ニ付テ何カ具體的ノ御研究デモアリマスルカ、現在ハ非常ニ馬ノ飼料ガ暴騰致シテ居リマス、現ニ大麥ガ五斗デ十圓モ致シテ居リ、麴ガヤハリ五斗デ三圓五十錢モ致シテ居リ、驚クベキ暴騰ヲ致シテ居リマシテ、馬ノ生産費、或ハ育成費ニ大ナル影響ヲ及ボスデアリマスガ、馬ノ價格ヲ高價ニスル一方ニ於テ、又生産費ヲ低減サセルト云フコトモ、決シテ忘レテハ相成ラスト思フデアリマスガ、之ニ付テ何カ具體的ノ御考ガアリマスカ

○荷見政府委員 生産費ヲ低減スル方策ト致シマシテハ、昨日モ一寸申上ゲマシタノデスガ、第一ガ牧野等ヲ整理シテ生産費ヲ低下スル、或ハ國有種牡馬等ノ制度ニ依ツテ、ソチヲ方ノ分モ出來ルダケ低下スル、或ハ生産ニ用ユル牝馬等ノ飼育補助金ノヤ

ウナモノヲ出シマシテ、ドチラニ於テモ農民ノ負擔スベキ生産費ヲ低下スルト云フヤウナコトニ相成ルト思フデアリマス、其ノ他今回ノ馬政計畫ノ全般ガ、大體ニ於テ馬ノ生産費ヲ低下セシメルコト、ソレカラ一面ニ於キマシテハ馬ノ價格ヲ著シク激騰サストカ、或ハ安定ヲ缺クトカ云フヤウナコトノナイヤウニスルコトニ、役立ツ方向ニナツテ居ルト考ヘテ居ル譯デアリマスガ、私カラ生産費低下ノ問題ニ付テ申上ゲルコトハ、其ノ程度デ御諒承ヲ願ヒマス

○岸政府委員 尙ホ只今麴ノ問題ガアリマシタカラ申上ゲマス、是ハ豫算分科會デモ少シク其ノ間ノ事情ヲ御話申上ゲマシタガ、重ネテ申上ゲマス、今御話ノ通り畜産經濟ニ於テ其ノ生産費ノ大部分ヲ占メテ居ル所ノ飼料ヲ、生産スルト云フコトニ付テハ、是ハ色々方面カラ努力シテ行カナケレバナラヌコトデアリマス、特ニ最近ノ如ク飼料ノ資源ガ、或ハ工業ノ原料ニ使ハレルトカ、他ニ轉換サレル場合ニハ特ニ斯様ナコトニ注意ヲ拂ハナイトイケナイ譯デアリマス、麴ニ付キマシテハ昨年飼料ノ統制ヲヤル場合ニ、是ハ統制品目ニ入レヨウカドウカト云フコトヲ、考ヘマシタ時ニ於キマシテハ、内地ニ於ケル所ノ小麥粉ノ生産モ減

ルコトハナシ、又其ノ大キナ供給地デアル所ノ滿洲ニ於ケル所ノ麴ノ供給モ十分デアルシ、尙ホ北支中支ニ於ケル所ノ經濟狀況モ、順次回復シテ來ルコトナルナラバ、麴ノ海外カラノ供給地デアル所ノ此ノ方面ノ供給モ、仰ゲルト云フコトヲ信ジテ居ツタノデアリマスガ、昨年ノ秋頃ニナリマシテ急ニ其ノ麴ノ供給ガ十分デナクナツタ、其ノ原因ヲ考ヘテ見マスト、結局内地ニ於ケル麴ノ生産モ十分デナシ、滿洲方面ノ麴ヲ供給モ、滿洲ガ小麥ガ不作デアル爲ニ麴ヲ食糧化スルト云フコトヲ計畫的ニ實行シテ居ル爲ニ、供給ガ十分デナイ、而シテ申

支北支ニ於テハ治安ノ回復ニ隨ツテ工場モ擴張サレ、生産モ殖エルノデアリマスガ、圓爲替ノ關係カラ此ノ取引ハ中々ムツカシイ、サウ云フヤウナ狀況ガアリマシタノデ、飼料配給統制法ノ統制品目ニ加ヘマシテ、飼料配給株式會社ヲシテ輸入ヲ統制サセ、一手ニ輸入シテ之ヲ配給スルヤウニ致シタノデアリマス、此ノモウ一ツノ狙ヒ所ハ内地デ生産スル麴ヨリ北支、中支ニ於テ生産スルモノノ方ガ割合ニ安イノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ安イモノヲ入レテサウシテ之ヲ緩和シテ行ク、斯ウ云フ考ヲ以テヤツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ現在ニ於

テハ相當多量ノ數量ヲ輸入サレテ居ルノデアリマスルシ、今後モ引續イテ是ガ輸入サレテ參リマスルカラ、隨テ數量ノ點ニ於テモ價格ノ點ニ於テモ漸次緩和シテ行クグラウト思ツテ居リマス、御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○坪山委員 現在戰地ニ居リマスル軍馬デスガ、是ハ當分一頭モ内地ニ歸ラナイモノト解釋シテ間違ガアリマセヌナ

○中村政府委員 是ハ軍ノ機密事項ニ關シマスノデ、ハツキリソレハ申上ゲラレナイ譯デアリマス、ドウゾ其ノ點御諒承願ヒマス

○坪山委員 過般來或ハ一部歸ルノデハナカラウカト云フヤウナコトデ、内地ノ色々馬ノ方ニ影響ガアルノデヤナカラウカト云フヤウナ考ヲ持ツタコトガアルノデスガ、其ノ後其ノ儘立消ニナツテ居ルノデス、ヤハリ是等モ内地ノ産業上ニ色々大ナル關係ガアルノデ御尋ラシタノデスガ、御答ガナケレバ已ムヲ得ナイト思ヒマス、將來馬ノ生産ニ關係ヲ持ツモノデアリマスガ、將來ノ戰略戰術上カラ考ヘマシテ、乘馬隊殊ニ騎兵ハ他ノ兵科ガ増加スル割合ニ餘リ増加シナクテモ宜イデヤナカラウカト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ルノデス、機械化部隊ノ非

常ナ發達ト、或ハ飛行機ノ發展等ニ伴ヒマシテ、日露戰爭當時ノヤウナ華々シイ騎兵集團ガ大ナル活動ヲナスコト云フヤウナコトハ、將來或ハナクナルノデハナカラウカト考ヘテ居ルノデスガ、乘馬隊、殊ニ騎兵ハ輕種ヲ向ケルコトニナツテ居ルノデ、ヤハリ將來ノ馬産ニ餘程影響ヲ持ツノデハナカラウカト思フノデアリマス、當然ハツキリシタ御答ハ出來ナカラウト思フノデアリマシガ、大體ノ想像デモ宜ウゴザイマスカラ御話願ヒタイト思ヒマス

○中村政府委員 前ノ問題ニ付キマシテ、非常ニ産業上御困リダ、斯ウ云フコトデ御話モアリマスガ、若シ安全ナ數ヲ取ルナラ歸ラナイト云フコトデ御計畫ヲシテ戴イタラ、一番安全デヤナイカト思ヒマス

後ノ御質問、是ハ無論軍トシマシテハ非常ニ大キナ問題デモアリ、又此處デ申上ゲルベキ問題デモナイノデゴザイマスガ、次ノ點ダケハ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒマス、即チ騎兵ヲ如何ニスルヤ、又ソレガ多クナルトカ、少クナルトカ云フコトハ是ハ申上ゲラレマセヌガ、今次事變ノ結果、竝ニ吾々ノ見透シ得ル將來ヲ見透シタ其ノ範圍ニ於キマシテ、如何ニ機械化部隊ガ發展ヲシ、軍ハ機械化トナリ、空中ニハ飛行機

ガ非常ニ多クナツテ大發展ヲ遂ゲマシテモ、此ノ軍馬ト云フモノハドウシテモ必要デアル、即チ今回ノ法案ヲ敢然トシテ出スコトガ出來タ決心ノ付イタ所デゴザイマス、是ダケハ申上ゲマス

○坪山委員 馬ノ生産増加デアリマスガ、此ノ間材料ヲ願ツテ置キマシタガ、マダ材料ガ出テ居ナイヤウデス、馬ガ牛ニ變ツタ狀態ヲ實ハ表ニ依ツテ見ヨウト思ヒマシタガ、マダ表ヲ手許ニ貰フコトガ出來ナカツタノデアリマス、ナクトモ凡ソノ想像デ御尋致シタイト思ヒマス、此ノ頃大分ト馬ガ牛ニ變リマシタ、吾々ノ一局部ヲ見マシテモ、相當數牛ニ變ツテ居ルヤウデアリマス、是ハ餘程軍用上重大ナ關係ヲ持ツノデハナカラウカト思ヒマス、吾々農業者カラ云ヒマスレバ、餘程牛ノ方ガ飼ヒ好イノデアリマシテ、飼料ニ付キマシテモ、極メテ安價デアリマスガ、馬ノ方ハ中々サウハ行カナイノデアリマス、唯併シ軍ト云フ國防上ノ關係ヲ考ヘテ居リマスレバコソ、ドウシテモ馬ヲ維持シナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマスガ、此ノ牛ニ變ツテ行ク狀態ニ付テモ政府ハ之ヲ放任シテ置クノデアラウカ、或ハ將來或ル數ニ依ツテドウ云フ風ニカ之ヲ決メナケレバナラヌノデアラ

ウカ、是ガ先ツ第一點デアリマス、生産ノ増加、是モ表ヲ御願ヲ致シテ置キマシタガ、マダ其ノ表ガナイヤウデアリマス、私質問スル前ニ表ノアリマセヌヲ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス、併シ是モ相當數アラウト思ヒマスカラ想像デ御尋ヲ致シテ置キマス、牝馬デアリマシテモ、實際ノ種付ヲシナイ馬、今回ノ此ノ案カラ見マスレバ、生産増加ノ方ニ付キマシテハ種馬——種牡馬ノ國有ダトカ、或ハ種牝馬ノ助成ト云フヤウナコトガアリマスガ、私ハソシナコトデハ到底此ノ生産ノ増加ヲ圖ルコトハ出來ナイ、現ニ政府デ要望致シテ居ル所ノ内地百萬頭、全體デ百萬頭ト云フヤウナ馬ノ保有ハ絕對ニ出來ナイノデハナカラウカト思フ、ヤハリ今日マデ種付ヲシナイ所ノ牝馬ニ對シテモ、何カ積極的ナ助成ノ方法ヲ講ジテ、是ガ種付ヲシナカツタナラバ、馬政當局ガ要望シテ居ルヤウナ數ヲ保持スルコトハ極メテ困難ト考ヘテ居ルノデスガ、是等ニ付テノ御考ヲ承リタイ

○荷見政府委員 最初ニ御要求ニナリマシタ工業用ノ牛ノ頭數、馬ノ生産ノ狀況ト云フヤウナコトヲ差上ゲマセヌデシタノハ、是ハ農林省デハ昨年度ノ統計ヲ申上ゲマスコトハ、事變關係デ餘リ世間ニ知ラレルト工

合ガ惡イト云フヤウナコトデ、關係者打合ノ結果、數字ヲ公表致サナイコトニナツテ居リマスノデ、御手許ニ差上ゲテゴザイマセヌ、或ハ適當ナル時ニ申上ゲルヤウニシタ方ガ宜カラウト思ヒマス、牛ニ變ツテシマツテ馬ガ減ツテ來ル、是ハドウダト云フヤウナ御話デアリマスガ、政府ト致シマシテハ決シテ馬ヲ牛ニ變ヘルヤウニ獎勵ヲシテ居ル譯デハゴザイマセヌ、馬ハ出來ルダケ生産スルヤウニ努メテ居リマス、ソレナラバ馬ノ方ノ狀態ハドウデアルカ、御承知ノ通りニ事變以來生産力ノ擴充ヲ非常ニ努力致シテ居ルノデアリマシテ、種付ノ見込數モ平年ハ二十四萬頭デゴザイマスケレドモ、十三年ノ見込ハ三十萬ニ上ルヤウナ見込デゴザイマス、是ハ相當生産數ガ増加シテ參ツテ、結局馬ノ數モ殖エルト云フコトノ一ツノ傾向ヲ現ハスモノデハナカラウカト思ツテ居リマス、尙ホ先程御話デアリマシタ馬ノ價格調ノ問題デゴザイマスガ、是ハ陸軍ノ御調ニナリマシタモノハ軍馬關係ノモノデゴザイマシテ、私ノ方デモ調ベタモノガゴザイマスガ、ソレハ一般ノ馬ノ價格ノ變動ヲ大正六年ヲ一〇〇ト致シテ見マス、昭和十二年ハ馬ハ二一四ト云フヤウナ指數ニナツテ居リマス、此ノ點ダケ先程調

ベテカヲト申上ゲマシタカラ附加ヘテ申上
ゲマス

○坪山委員 牛ノ問題デスガ、決シテ牛ヲ
獎勵シナイト云フヤウナ……

○荷見政府委員 私ノ申上ゲマシタノガ、
何カ御聽取リニクカツタと思ヒマス、決シ

テ政府デハ馬ヲ牛ニ變ヘルヤウニ獎勵致シ
テ居リマセス、斯様ニ申上ゲマシタ

○坪山委員 勿論サウデナケレバナラスト
思フノデアリマシテ、馬ノ方ヲ餘程御獎勵

ヲ願ハナケレバナラスト思フノデスガ、自
然ノ結果ハ局部的ニ申シマスレバ、可ナリ
牛ニ自ラ變ツテ居ルノデスガ、斯ウ云フ點

ニ付テハドウ云フ御考デスカ

○荷見政府委員 馬ノ生産改良竝ニ飼育頭
數ノ維持或ハ増加ト云フコトニ付キマシテ
ハ、馬政計畫ニモ明瞭ニ書イデアリマスヤ

ウニ、此ノ頭數ヲ維持スルニ努ムル、其ノ
他其ノ生産ヲ改良スルコトニ努メルト云フ
コトガ方針トシテ決定致シテ居ルノデアリ
マシテ、出來ルダケ現在馬ノ頭數ヲ維持シ、
或ハ生産力ヲ擴充スルコトニ努メテ居ル次
第デアリマス

○坪山委員 勿論サウデナケレバナラスト
思フノデアリマスガ、自然牛ハ抛ツテ置ケ
バ段々經濟上ノ關係デ殖エルノデハナカラ

ウカト思フノデスガ、併シ是ハ意見ノ相違

ニモナリマセウシ、其ノ結果ハ將來デナケ
レバ分ラナイノデ、是以上私ハ申上ゲマセ
スガ、馬ノ生産増加デスガ、勿論種付モ相當
數勉強シテ種付ケナケレバナラスト云フ

コトハ當然デスガ、馬ノ保健衛生、之ニ付
テモ特ニ一段ノ努力ガ必要ダと思フ、如何
ニ澤山種付ヲシマシテモ、保健衛生ノ上ニ
於テ缺クル點ガアツテハナラスト思フノデ

アリマシテ、ソレガ爲ニハ私ハ極端ナ話ヲ
申上ゲルカモ知レマセスガ、馬ハヤハリ農
業保險ノヤウニ全部家畜保險ニ強制加入ヲ

セシムル、サウシテ其ノ技術員ハ是ハ國家

ガ全體ノ費用ヲ持ツテ、サウシテ技術員ハ
其ノ區域内ノ馬ニ對シテハ無料デ診斷ヲシ
治療モスル、此ノ程度ノ思ヒ切ツタ助成ガ

必要デハナカラウカト思フノデスガ、之ニ

對シテドンナ考ヲ持ツテ居リマスカ

○岸政府委員 馬ノ増殖上產馬ノ經濟ヲ安
定サセルト云フ意味デ家畜保險ガ必要デア
ルト云フコトハ申上ゲルマデモナイコトデ

家畜保險全體トシテハ加入頭數ニ於テ順調

ニ進ンデ居ルノデアリマスガ、牛ノ加入頭
數ニ比ベマシテ、馬ノ加入頭數ガ豫定程行
ツテ居ナイ、是ハ豫定ノ危險率ニ對シマシ

テ、牛ノ方デハ略、實際ノ危險率ガ其ノ程
度ニ行ツテ居リマスガ、馬ノ方ニ於キマシ
テハ豫定ノ危險率ヨリモ遙ニ上廻ツテ居ル

ト云フヤウナ狀態デアリマシテ、色々是ガ
保險經營上ニ於テ問題ニナルと思ヒマス、隨
ヒマシテ是等ニ付テソレヲ普通ノ營利的計

算ニ基イテ組合員カラ保險料ヲ取り、又經

營費ニ當ル附加保險料ヲ取ルト云フコトハ、
是ハ實際中々農家ノ懷ロトシテハ困難デア
ルト思ツテ居ル、隨ヒマシテ此ノ點ニ於テ

ハ相當社會保險的ノ考ヲ以テ、經費ノ助成
ヲシテ幾分ナリトモ其ノ負擔ヲ輕減シテ行
カナケレバナラスト云フ考ヲ持ツテ居リマ

ス、只今デモ僅カノ金デアリマスガ、或
ハ技術員ノ助成デアルトカ、或ハ加入又ハ
衛生施設ノ助成ト云フヤウナコトヲヤツテ

シタイト考ヘテ居リマス

○坪山委員 私ハ斯ウ云フ思切ツタ大變革
ノ場合デアリマスカラ、馬產試驗場ヲ設置
シテ、サウシテ此ノ變革ニ善處スルコトガ

此ノ際極メテ必要ナルコトデナカラウカト
思フノデスガ、之ニ對シテドンナ考ヲ持ツ
テ居リマスカ

○荷見政府委員 全ク御同感デゴザイマス
ガ、今年ハ極ク僅カデアリマスガ、馬事ノ
調査ニ關スル經費モ要求致シテ居リマス、

其ノ外出來ルダケ方法ヲ講ジマシテ今ノヤ

ウナ趣旨ノ一日モ早く實現スルヤウニ努メ
タイト考ヘテ居リマス

○坪山委員 僅カバカリノ經費デハ全ク物
足りナイカラ是非思切ツテ餘リ研究倒レニ
終ルヤウデモ面白クアリマセヌカラ、成ベ

ク澤山ノ金ヲ早く出シテ早く目的ヲ達スル
ヤウニ一段ノ御努力ヲ願ヒタイト思フノデ
アリマス、今回ノ軍馬資源ノ保護法案ニ依
リマシテ大分影響スルモノガアルノデアリ

マ

スガ、例ヘバ生産地及ビ育成地ノ犧牲、

或ハ地方競馬ニ今日マデ出走シ來リマシタ

馬ノ處分ノ問題或ハ地方競馬施行ノ結果持

ツテ居ツタ負債ノ整理ノ問題、或ハ今日マ

デ地方競馬ニ依ツテ助成セラレテ居ツタ地

方ノ馬事團體ノ助成ノ問題、或ハ馬事施設

ノ問題、或ハ馬事施設

ノ問題等、大分十二年度ニ於テモ、政府ノ調ガアリマスガ、全國デ百八十何万圓カノ馬事施設費ヲ使ツテ居ルヤウデアリマス、當然十三年度アタリハ是以上ニナラウト思フノデアリマスガ、サウ云フ色々ノ影響ヲ及ボスモノガアリマスガ、是等ニ對シテ處置方法ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○荷見政府委員 第一ノ御話ノ地方競馬ニ關スルノ問題デアリマスガ、地方競馬ノ出走馬ト雖モ資格ノ良好ナルモノハ軍用保護馬ニ指定サレルコトニナリマスカラ、ソコニ出走シ得ルコトニナルト思ヒマス、ソレカラ地方競馬ノ廢止ニ依ツテ競馬場ガ廢メラレタ場合ノ負債ノ整理ノ問題、之ニ付テハ今回新ニ鍛鍊馬競走ノ中央會ヲ設ケマシテ、ソレニ依ツテ負債ノ整理等ニ付テモ出來ル限リ支障ノ少イヤウニ處置シタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ地方馬事團體ニ地方競馬ノ收益金ヲ以テ助成致シテ居ツタモノハドウナルカ、是ハ相當收益金ガアルヤウナモノニ付キマシテハ、中央會等ニ金ノ餘裕ガ出來レバ、ソチラニ助成シ得ルヤウナ途ヲ講ジタイト思ヒマス、尙ホ地方ノ鍛鍊馬競走施行者ニ對スル控除金ノ率ノ定メ方ニ依ツテ成タケソチラノ方ニモ不自由ヲ來

サナイヤウニシタイト思ツテ居ル譯デアリマス

又馬政計畫ノ變動ニ依ツテ平時ノ馬ノ生産等ニ從事スル地方ノ人ニ相當迷惑ガアルノデハナイカト云フ最初ノ御質問思ツタノデアリマスガ、之ニ付テハ馬ノ改良方針ノ變更ニ伴ヒマシテ影響ヲ受クベキモノニ對スル策ト致シマシテハ、第一ニ戰列部隊所要馬ノ生産用ノ種牡馬ノ整備ハ昭和十八年度マデトナツテ居リマスケレドモ、輕種ノ產地ニ對シテハ特ニ之ヲ早メル方針ヲ執ルコトガ、輕種ノ種牡馬ヲ中間種ノモノニ置換ヘル場合ノ設置獎勵ニ付テハ、輕種產地ヲ優先的ニ認メル方法ヲ執ルコト、及ビ輕種產駒ノ軍馬購買ニ付キマシテハ、軍部トノ申合ニ依リ明ケ二歳ノモノハ昭和二十年度マデ、牡馬ハ同ジ二十五年年度マデ特ニ之ヲ認メル方針ヲ執ルヤウニ致ス、斯ウ云フヤウナコトニ依リマシテ成タケ此ノ迷惑ノ程度ヲ輕減スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○坪山委員 今日マデノ地方競馬ハ當然多少ノ非難ハアリマシタラウガ、其ノ地方競馬ガ我國ノ馬事ノ上ニ盡シタ所ノ功績ハ相當ナモノデアルト思ヒマスガ、政府當局ハドウ御考デアリマスカ

○荷見政府委員 地方競馬ハ只今御話ノ通り馬事振興トカ、馬事思想ノ普及ヲ目的トシテ施行セラレタノデアリマシテ、之ニ依ツテ直接馬産ヲ刺戟シ、又馬事施設ニ依ツテ馬事ノ振興ニ貢獻スル所尠カラザルモノガアツタト云フコトハ私共モ認メテ居リマス

○坪山委員 今回此ノ保護法案ニ依リマシテ鍛鍊競技、即チ優等馬投票券ヲ發賣シ得ルモノハ北海道ダケハ三箇所デアリ、他ノ府縣ハ一箇所所以内ト云フコトニナツテ居リマスガ、之ヲ許可スル標準ト申シマセウカ、ソレハドシナ所ニアルノデアリマスカ

○荷見政府委員 鍛鍊馬競走ハ軍用保護馬ノ鍛鍊競技ノ一ツトシテ之ヲ認メルノデアリマスカラ、其ノ競技ニ出場スルガ如キ資格ヲ有スル馬ヲ相當持ツテ居ルト云フヤウナ所ニハ之ヲ許可シテ行クコトニナルト考ヘマス、一箇所所以内デアリマスカラ、一箇所以上ハ勿論許可出來スコトハ當然デアリマス、一箇所所以内ノ範圍ニ於テ許可シテ行ク積リデアリマス

○坪山委員 縣ニ依ツテハヤハリ優等馬ノ投票券ヲ發賣シ得ル所ト得ナイ所トノ區別ガ當然付カウト思フ、優等馬投票券ヲ發賣シ得ル箇所ヲ許可スル一ツノ標準デアリマスガ、標準ト言フト一寸分ラヌカモ知レヌ

ガ、幾ラヤツテモ損ガ行ツテ駄目ダ、或ハ保護馬ニ指定スル馬ノ數ガ少イト云フヤウナコトガ當然起ルト思フガ、其ノ標準ヲ一ツ御聽カセヲ願ヒタイ

○荷見政府委員 標準ト申シマシテモ、只今私が申上ゲタヤウニ、鍛鍊馬競走ヲ爲シ得ルニ十分ナル頭數ヲ持ツテ居レバ許可出來ルト思ヒマスガ、何頭ト云フコトヲ今申上ゲルマデニ至ツテ居リマセヌ、ソレカラモウ一ツノ御尋ハ……

○坪山委員 何處ニデモ一箇所所以内出來ルノデ、何處デデモ其ノ一箇所ダケハ三圓ノ投票券ガ發賣出來ルコトニナリマスガ、サウ云フコトノ出來ナイ府縣モ當然出來ヤウト思フ、日本ノ各府縣ニ全部一箇所ゾツ出來ル云フコトハ望ミ得ナイト思フ、彼處ノ縣ハ幾ラ投票券ヲ賣ラシテモ損バカリシテ居ツテ仕樣ガナイト云フヤウナ所モ當然實際ノ問題トシテ出來ヤウト思フガ、其ノ一ツノ標準ガナケレバナラヌト思フ

○荷見政府委員 ソレハサウ云フコトヲヤル團體ガナイ、鍛鍊馬競走ヲ致シマシテモ損失バカリシテヤツテ行ケナイト云フヤウナ所ハ、吾々ノ方デハ之ヲ行ハシムル意思ハナイノデアリマシテ、出來ナイ所ハ廢メルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、

ソレハ議論ノ餘地ハナイヤウニ思ヒマス

○坪山委員 其ノ點ニ付キマシテ廢止ニ伴フ整理ノ問題デアリマスガ、是ガ一番大キナ問題ダト思ヒマス、府縣ニ依ツテハ相當ノ負債ヲ持ツテ居ル所モアリマス、政府ノ方デハ此ノ附則ヲ見テモ何カ中央ニ一ツノ團體ヲ作ツテ、其ノ負債整理等ニ付テ御骨ヲ折ラレルヤウナ風ニナツテ居リマスガ、此ノ負債ヲ持ツテ居ル者ニ對シテハドノ位ノ金ヲ以テ、何時位ノ期間ノ内ニドウ云フヤウナ方法デ整理ヲサレルコトニナリマセウカ、サウ云フ點ヲ御聞カセ願ヒタイト思ヒマス

○荷見政府委員 此ノ軍馬資源保護法案ノ附則第二項ニ掲ゲマシタヤウニ軍用保護馬鍛鍊中央會ハ本法公布ノ日ニ於テ現ニ優勝馬投票ニ依リ景品券ヲ發行スル競馬施行ノ許可ヲ受ケ居ル畜産組合會又ハ畜産組合ガ第三十三條ノ規定ノ施行ニ關聯シ當該競馬場ニ付爲ス設備ノ處分其ノ他ノ整理ニ關シ勅令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル事業ヲ行フコトヲ得「斯ウ定メマシタノデ、軍用保護馬鍛鍊中央會ハ此ノ法律ヲ公布致シマス際ニ、地方競馬ヲ行フ許可ヲ得テ居リマシタモノノ競馬場ヲ整理ヲ致スコトニ關聯致シマシテハ、勅令デ以テ定メマシテハ之ニ必要ナル

事業ヲ行ハシメルト云フコトニシテ居ルノデアリマス、而シテ中央會ガ實行致シマスル地方競馬場ノ整理ハ御承知ノ通り中々複雑セル問題ヲ多ク持ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ嚴正ナル實施ヲ期シマス爲ニ、地方競馬場整理委員會ナルモノヲ設置致シマシテ、之ニ整理ニ關スル重要事項ヲ審議セシメル積リデ居リマス、而シテ御尋ノ第二點ノ軍用保護馬鍛鍊中央會ハ、整理ノ爲メ如何ナル事業ヲ行フノデアルカト申シマスト、大體畜産組合聯合會又ハ畜産組合ノ競馬場設備ニ關スル負債ニ付キマシテ、其ノ償還ノ

幹旋、保證、償還ノ爲メノ資金ノ融通等、負債ノ償還ヲ容易ナラシメンガ爲ニ最モ有效適切ナル措置ヲ講ズル見込デアリマス、尙ホ現在ノ地方競馬ニ關スル負債ハ如何ナルモノヲ中央會ニ於テ整理シテ行クベキデアルカト云フコトニ付キマシテハ、競馬場ノ土地又ハ建設物ノ買收若クハ設置等ニ基ク負債デ、地方競馬整理委員會ニ於テ適當ナリト認メタモノニ限ツテ之ヲ整理ノ對象ニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○坪山委員 此ノ現在アリマス馬匹協會ト鍛鍊中央會ノ問題デアリマスガ、當然中央會ガ生レマスレバ、吾々素人考デスガ、此ノ馬匹協會ハ用ガ無クナルデハナイカト云

フ考ヲ持ツノデスガ、サウ解釋シテ間違ヒアリマセスカ

○荷見政府委員 私ハ只今ノ帝國馬匹協會ノ使命ハ地方競馬ノミデナイト確信シテ居リマス、其ノ他幾多ノ馬ノ政策等ニ對シテ爲スベキ仕事ガアルト考ヘテ居リマスノデ、軍用候補馬鍛鍊中央會ノ成立ニ依リマシテ、是等ガ用ガ無クナルトコロデハナク、今回ノ馬政計畫ノ實施ニ付テハ從來ヨリモ餘程多方面ニ、且ツ内容ニ於テモ餘程多クノ仕事ヲ實行スルヤウニナルベキモノト考ヘテ居リマス

○坪山委員 勿論サウナラナケレバナラスト思フノデスガ、併シ何事モ仕事ヲヤルノニハ費用ノ問題ガアリマス、今日マデハ地方競馬ノ賣上金ノ中カラ或ル歩合金ヲ出シテ居ツテ、サウシテ自分ノ費用ヲ維持シテ居ルノデスガ、ソレガ今回ハ全然無クナルノデアリマス、此ノ點ニ對シテハ何等御懸念ハナイノデアリマスカ

○荷見政府委員 只今御話ノ帝國馬匹協會ニ於ケル地方競馬ヨリノ收入ハ極メテ少額ナルモノデアリマス、之ニ依ツテ事業ヲ施行スルト云フコトハ殆ド困難ナ程度ノモノデアルヤウニ承知致シテ居リマス、隨テ今回其ノ事業ガ片方ニ移リマシテモ、ソレガ

爲ニ馬匹協會ノ仕事ガ困難ヲ生ズルト云フ虞ハナイト考ヘテ居リマス、尙ホ鍛鍊中央會ト馬匹協會ノ連絡ニ付キマシテハ、是ハ私ハ有ユル機會ニ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、十分ニ其ノ連絡ノ方法ヲ政府ニ於テモ指導致シマシテ、遺憾ナキヲ期シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○坪山委員 軍用保護馬ト軍馬購買ノ關係デアリマスガ、折角保護馬ニ指定ヲシマシテモ、軍馬購買等ガアル場合ハヤハリ其ノ馬ヲ購買ニ出スノデアリマスガ、斯ウ云フ關係ニ付テハドウナリマスカ

○荷見政府委員 ソレハ軍用保護馬ノ中ニ包含スルノデアリマス

○坪山委員 包含シテ居レバ、軍馬購買ガアツテ、其ノ馬ヲ購買ニ出シテ賣レタト云フコトニナレバ、其ノ市町村ノ指定ノ數ハソレダケ減ルコトニナリマスガ、後ハドウ云フコトニナリマスカ

○荷見政府委員 左様ナ場合ニハ臨時檢定ノ方法ニ依ツテ補充シテ參リマス

○坪山委員 普通鍛鍊デアリマスガ、普通鍛鍊ハ年ニドレ位ト云フ方法デ、ドウ云フ風ニヤレマスカ、又一年ニドレ位ナ助成ヲサレルコトニナリマスカ

○荷見政府委員 普通鍛鍊ハ概ネ月二回行

フコトトシ、年二十四回以上之ヲ行フコトニ致シマス

○坪山委員 ソレハドウ云フ方法デ行フカ、又國家ノ助成金ノ額ハドレ位デスカ

○荷見政府委員 普通鍛鍊ノ回數ハ只今申上ゲタ通りデアリマスガ、其ノ方法ト致シマシテハ、一市町村、必要アル時ハ數市町村内ニ於ケル軍用保護馬概ネ二十頭毎ニ班ヲ組織致サセマシテ、各班毎ニ之ヲ行フノデアリマス、但シ必要アル時ハ數班聯合シテ行フコトモ得ルコトニナルノデアリマス、ソレカラ經費ノ御話デゴザイマシタガ、日常ハ一日三十五錢、旅費ハアリマセス

○坪山委員 ソレハ分リマスガ、一箇年ニ指定シタ場合ニ幾何ノ金ヲ助成スルカト云フコトデス

○荷見政府委員 只今ノハ飼養費ノ助成ノ問題デアリマスガ、是ハ一年ニ三十七圓ト云フ平均ニナツテ居リマス

○坪山委員 國家ノ財政ノ上ニ於テ已ムヲ得ナイデアリマセウガ、一年ニ指定ヲサレテ、其ノ馬ハ賣ルコトモ出來ナイ、動カスコトモ出來ナイ、ソレデ一箇年ニ三十七圓、殊ニ鍛鍊ヲヤル場合ニ馬ニハ人ガ附キ物デス、殊ニソレモ相當ノ人デナケレバ乗ツテ鍛鍊ガ出來ナイ、ソレヲ毎月二日ト云フコ

トニナリマスレバ、農繁期ノ五月トカ六月トカ云フ随分忙シイ時期ニモヤルノデアリマシテ、人ト馬ガ年ニ二十四日以上出ナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、殊ニ此ノ鍛鍊ニ出ル以前ニ於テハ、馬ニ對シテモ、相當増シ飼ナリ手當ヲシナケレバ、折角鍛鍊ニ出テモ馬ガ疲レテシマツテ汗バカリ掻イテ殆ドドウモ出來ナイト云フコトニナル、騎手ノ方ニ於キマシテモ、ヤハリ慣レナイ者ハ一日乗ルト随分身體ニキキマシテ、其ノ翌日ハ仕事ガ出來ナイト云フコトニモナルノデアリマシテ、此ノ金額ノ三十七圓ハ餘リニ少イノデハナカラウカト思フノデスガ、之ニ對シテドウ御考ニナリマスカ

○荷見政府委員 最初ノ御尋ハ軍用保護馬ニ指定サレレバ、是ハ賣ツテハナラヌト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ賣買スルコトハ自由デアリマス、ソレカラ農繁期ニ出テ行クノハ困ルデハナイカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ農繁期ヲ出來得ル限り避ケテ實行スル積リデアリマス、吾々ト致シマシテハ出來ル限り餘計ニ助成金ヲ出シタイト思ツテ居ルノデアリマスガ、財政ノ關係モアリマスシ、已ムヲ得ナイコトト考ヘテ居リマス

○坪山委員 國家ノ財政上ノ問題デ已ムヲ得ナイト思ヒマス、併シ指定ヲセラレテ、或ハ農繁期ハ除外スルコト云フヤウナ御話デアリマシタガ、年ニ三十七圓デ、サウシテ人ト馬ガ少クテモ二十四日以上ハ出ナケレバナラヌト云フノデハ、ソレハ指定サレレバ名譽カモ知レマセヌガ、其ノ助成ノ方法ガ吾々ノ考カラ見レバ今日ノ此ノ諸物價カラ考ヘテ、随分無理デハナカラウカト思フノデアリマス、併シ是モ豫算ノ關係デ已ムヲ得ナイト思ヒマスケレドモ、ドウカ此ノ増額等ニ對シマシテ、將來一段ト御骨折リヲ願ヒタイト思ヒマス、普通鍛鍊ノ方ハ市町村ガ一部ノ事務ヲ擔任スルコトニナツテ居リマスガ、市町村デアリマスモノニ對シテノ國家ノ助成ハ、ドンナコトニナリマスガ、只ヤラセルコトニナリマスガ、ドンナコトニナリマスガ

○荷見政府委員 市町村ニ對スル助成ト致シマシテモ若干ノ豫算ハ組ンデアルサウデアリマスカラ、其ノ範圍デ出來ルモノト考ヘテ居リマス

○坪山委員 保護法ノ第十一條デスガ、其ノ發行ニ至ル金額ガ百分ノ二十五以內ト、斯ウ出サレタヤウデスガ、最初色々ノ會合ニ御示シナツタノハ、百分ノ二十以內ト

云フコトデアツタヤウニ覺エテ居リマス、是ハ色々馬關係者ノ聲トシテ訂正サレタヤウデアリマスガ、他ニモ要求シタ箇所ガ随分多イヤウデアリマス、現ニ優等馬票、投票券ノ金額ヲ三圓ヲ五圓ニスルトカ、或ハ四日以內ト云フノヲ六日以內ニシテ貰ヒタイト云フヤウナ御意見ガ相當アルノデアリマスガ、唯控除金額タケヲ御訂正ニナツテ居ルヤウデス、他ノ方ハドウ云フ譯デ斯ウナツテ、是ダケ御認メニナツタノハドンナ積リデスカ

○荷見政府委員 是ハ馬政調査會ニ附議シマシタ要綱デハ只今御話ノヤウニ百分ノ二十トナツテ居ツタノデアリマス、ソレデ今回控除率ヲ百分ノ二十五ト致シマシタ根據ニ付テ申上ゲマス、從來ノ地方競馬ニ於キマシテハ控除率ハ區々デアリマシテ、其ノ全國平均ハ約百分ノ二十五デゴザイマスケレドモ、實際優等馬票購買者ノ利益ヲ控除スル意味ト共ニ、新制度ノ下ニ合理的ニ經營ヲ行ヒマシテ、將來ニ於ケル其ノ健全ナ發達ヲ圖ル爲ニハ、控除率ハヤハリ私共ト致シマシテモ馬政調査會ニ付議致シマシタヤウニ、百分ノ二十以內ト爲スヲ適當ト認メテ居ルノデアリマスガ、軍用保護馬鍛鍊法等ニ現ハレマシタル御趣旨モアリマスシ、

優等馬票ニ對スル地方税ノ賦課セラレル場合ニ於キマスル優等馬票購買者ノ利便ヲ考慮致シマシテ、百分ノ二十ノ外、尙ホ地方税賦課率ニ相當スル率ノ控除ヲ認ムルコトト致シマシテ、百分ノ二十五以內ト致シタノデアリマス

○坪山委員 鍛鍊競技スル場合ノ騎手ノ問題デスガ、是ハ全部馬ヲ持つテ居ル者ニナリマセウカ、或ハドウ云フ者ニナリマセウカ、一定ノ試験デモヤルノデアリマセウカ、ドウ云フ者ヲ乗セルノデアリマセウカ

○荷見政府委員 専門ノ騎手ヲ養成致シタイト思ヒマス

○坪山委員 鍛鍊ヲスル其ノ競技ノ種目デスガ、是ハ在來今日マデ地方競馬ガヤツテ居ツタヤウナ種目ト、大差ガナイコトニナリマセウカ、ドウナリマセウカ

○荷見政府委員 主トシテ駈足競走ニ依ルコトニ致シタイト思ヒマス

○坪山委員 本法案ノ實施期ハ大體何時頃ニナル御見込デセウカ

○荷見政府委員 此ノ法案ハ主ナル部分ニ付キマシテハ、出來得ル限り速ニ實施致シタイト思ツテ居リマス、尙ホ第三十三條ノ詰リ地方競馬ノ廢止ニ關スル條項ハ、是ハ來年ノ一月一日以後ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○坪山委員 此ノ鍛鍊競技ニ依リマシテ、優等馬票ヲ賣ル競技場ハ、相當出來ヨウト思ヒマスガ、併シ吾々ノ考デハ中央會ニ來ベキ金ハ、是ハ勅令デドウ云フコトニナリマスカ、幾ラ賣ツタ場合ニハドウト云フコトニ當然ナラウト思ヒマスガ、此ノ要項ニモマダナイヤウデスガ、私ハ今マデノ地方競馬ニ比較シテ、非常ニ賣レナイノデハナカラウカト思ヒマス、馬ヤ色々ノ關係ニ於キマシテ、決シテ大ナル期待ハ持テナイノデハナカラウカ、斯ウ考ヘルモノデスガ、當然此ノ賣上等ニ依ツテ中央會ニ集マル金モ少クナリマセウガ、私ハソレノ賣上等ノ金ヲ以テ到底此ノ地方競馬ノ廢止ニ伴フ負債ノ整理マデニハ、行カナイノデハナカラウカト心配スルモノデスガ、サウ云フ心配ハアリマセヌカ

○荷見政府委員 是ハ鍛鍊馬競争ヲ認メマスル趣旨ハ、之ニ依ツテ軍用保護馬ニ對スル知識ヲ一般ニ普及セシメルコトニ資シタイ、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ、廣ク國民一般ニ對シテ軍馬ノ資質ニ關シマスル正確ナ認識ヲ圖リタイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、隨テ是ガ非常ニ不振ニナルト云フコトハナカラウト思フノデアリマスガ、何分新シイ制度デアリマシテ、御話ノヤウニ是

ガ繁昌致シマスカ、繁昌致シマセヌカ、見透シヲ申上ゲルコトハ困難デアリマス、而シテ其ノ納付金ニ依ツテ、現在存在シテ居ル廢止サルベキ地方競馬ノ負債ノ整理ニ充テルト云フコトハ、其ノ可能ナル範圍ニ於テ實行セシメルコトナルト思フノデアリマスガ、其ノ他必要ガアリマス場合ニハ、出來得ル限り適當ナル方策ヲ講ジタイト云フコトダケハ考ヘテ居リマス

○坪山委員 出走シ得ル馬ノ資格ガ鍛鍊馬ト云フコトニナリ、其ノ中デ鍛鍊競技ニ出場シ得ルト限定サレマスシ、隨テ縣內ノ馬ト云フコトニ當然ナラウト思フノデアリマシテ、サウ云フ點カラ考ヘマシテモ、投票金額、一口ニ言ヒマスレバ、賣上金額ト云フヤウナモノハ、激減スルノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、併シ是ハ將來ノ見透シデアリマスカラ、意見ノ相違ト云フコトニナリマスガ、今ノ御答ノ中ニ、其ノ金ノ中ノ一部分ヲ以テ、サウシテ若シ必要ガアレバ、他カラ何等カ方法ヲ講ズルト云フヤウナ御答ニ聽イタノデアリマスガ、其ノ金ガ當テニナラヌ場合ハ、他カラ金ヲ持つテ來テ、負債整理ノ方ニハマア心配掛ケナイト云フコトニ解釋シテ間違アリマセヌカ

○荷見政府委員 私ハ別ニ繁昌スルトモ、

シナイトモ申上ゲナイノデ、見解ノ相違デハナイノカモ知レナイト思ヒマスガ、兎ニ角ソレデ不十分ナ場合ハ、現在地方競馬ヲ經營シテ居リマシタモノガ、其ノ廢止ニ依ツテ受ケマスル困難ヲ、幾分デモ緩和致シマス爲ニハ、出來ル限り適當ノ方策ヲ講ジタイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ他カラ金ヲ持つテ來ルト云フヤウナコトハ、只今申上ゲルコトデハナイノデアリマス

○坪山委員 私實ハマダ色々細カイ點デ質問致シタイト思フノデスガ、自分一人デヤツテ居ルノハ甚ダ申譯ナイト思ヒマス、實ハ此ノ機會ニ自分ノ意見ヲ申上ゲタイノデスガ、ソレモ他ノ機會ニ譲リマシテ、此ノ際私ノ質問ハ是デ打切ルコトニ致シマス

○大石委員長代理 森田君、オ長イサウデスガ、五時マデヤツテハ如何デスカ、ソレデナカツタナラバ、明日ニ延バシテ戴キタイ

○森田委員 一貫スル意味ニ於テ明日ニ致シタイト思ヒマス、ソレニ私ハ拓務大臣、内務大臣、司法大臣ニモ聽キタイト思ヒマス

○大石委員長代理 ソレデハ五時マデト思ヒマシタガ、御希望ガアリマスカラ、本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致スコトニ致シマス

午後四時三十分散會